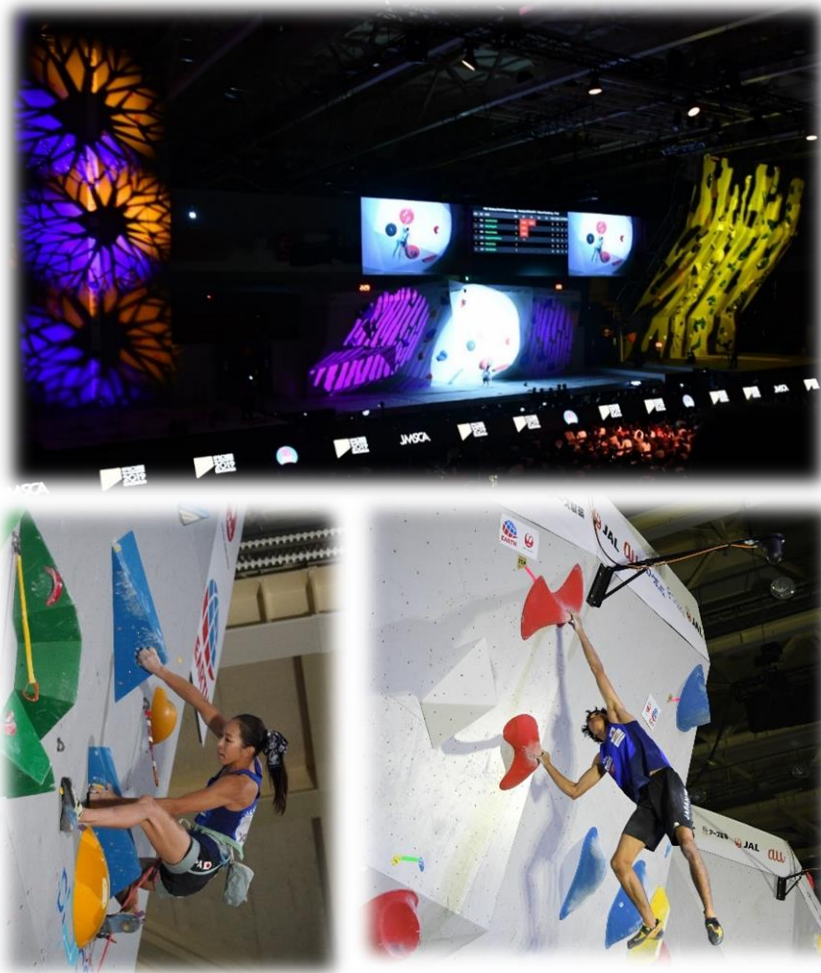




# IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子

## 開催の記録



令和2年（2020年）4月

八王子市オリンピック・パラリンピック推進室

# 目 次

|                                        |        |
|----------------------------------------|--------|
| 1 本書の目的                                | 1p     |
| 2 大会概要                                 | 2－3p   |
| 3 大会誘致・開催支援の目的及び効果                     | 4p     |
| 4 市の取り組みの全体像                           | 4p     |
| 5 開催に向けた取り組み(詳細)                       | 5－8p   |
| 6 「新たなおもてなし」の検討                        | 8－9p   |
| 7 大会開催支援の内容                            | 10p    |
| 8 おもてなしの詳細及び実績                         | 11－19p |
| 9 「観る」機会の創出                            | 19p    |
| 10 大学や団体等との協働                          | 20－21p |
| 11 経済波及効果                              | 21p    |
| 12 大会レガシーの設置                           | 22p    |
| 13 スポーツクライミングアメリカ代表チームの強化合宿受け入れ        | 23－24p |
| 14 総括                                  | 25p    |
| 15 参考(大会の様子)                           | 26p    |
| 【添付資料】                                 |        |
| 記者会見等での市長挨拶                            | 27p    |
| 「IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子」の開催支援に関する覚書 | 28p    |
| 明星大学による経済波及効果推計概要                      | 29－32p |
| 事業費内訳表                                 | 33p    |
| 主催者報告書                                 | 34－40p |

## 1 本書の目的

日本初開催となった「IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子」の誘致や開催支援に関する本市の取組を記録として残すことにより、今後の大規模な国際大会の受入やスポーツ MICE の推進にあたっての参考資料とするとともに、他自治体や団体への参考記録として活用することを目的とする。

### 【IFSC クライミング世界選手権とは】

IFSC クライミング世界選手権 (IFSC Climbing World Championships) は、国際スポーツクライミング連盟 (IFSC) が隔年で開催するスポーツクライミングの世界最高峰の大会。スポーツクライミングの3つの種目、ボルダリング、リード、スピードにおける男女の世界チャンピオンを決定する。日本では初開催。

#### 《過去の開催記録》

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 第1回(1991年)  | ドイツ フランクフルト        |
| 第2回(1993年)  | オーストリア インスブルック     |
| 第3回(1995年)  | スイス ジュネーヴ          |
| 第4回(1997年)  | フランス パリ            |
| 第5回(1999年)  | イギリス バーミンガム        |
| 第6回(2001年)  | スイス ヴィンタートゥール      |
| 第7回(2003年)  | フランス シャモニー         |
| 第8回(2005年)  | ドイツ ミュンヘン          |
| 第9回(2007年)  | スペイン アビレス          |
| 第10回(2009年) | 中華人民共和国 西寧         |
| 第11回(2011年) | イタリア アルコ           |
| 第12回(2012年) | フランス パリ            |
| 第13回(2014年) | ドイツ ミュンヘン・スペイン ヒホン |
| 第14回(2016年) | フランス パリ            |
| 第15回(2018年) | オーストリア インスブルック     |
| 第16回(2019年) | 日本 八王子             |

※パラクライミングはフランス ブリアンソンで開催



▲IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子の表彰式の様子

## 2 大会概要



- (1) 大会名称 IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子  
(IFSC Climbing World Championships-Hachioji(JPN)2019)
- (2) 大会期間 令和元年(2019 年)8月 11 日(日)から 21 日(水)
- (3) 会 場 エスフォルタアリーナ八王子(八王子市総合体育館)
- (4) 競技種目 ボルダリング・リード・スピード・コンバインド(複合)  
※ 各種目男女開催
- (5) 主 催 国際スポーツクライミング連盟  
(International Federation of Sport Climbing)  
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)
- (6) 後 援 スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、八王子市

### (7) スケジュール

- ・8月10日 選手登録、オープニングセレモニー  
(会場:京王プラザホテル八王子)
- ・8月11日 ボルダリング女子予選 10:00~15:05
- ・8月12日 ボルダリング男子予選 10:00~15:40
- ・8月13日 ボルダリング男女、準決勝/決勝 9:00~21:30
- ・8月14日 リード男女、予選 10:00~19:00
- ・8月15日 リード男女、準決勝/決勝 11:00~21:00
- ・8月16日 整理日(休み)
- ・8月17日 スピード男女、予選/決勝 12:30~18:30
- ・8月18日 コンバインド女子、予選 11:00~17:50
- ・8月19日 コンバインド男子、予選 11:00~17:50
- ・8月20日 コンバインド女子、決勝 16:30~20:15
- ・8月21日 コンバインド男子、決勝 16:30~20:15



### (8) 参加国等 39の国・地域

アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、チリ、中国、チェコ、エクアドル、スペイン、フランス、イギリス、ドイツ、香港、インド、イラン、イタリア、イスラエル、カザフスタン、韓国、メキシコ、オランダ、ノルウェー、ニュージーランド、パキスタン、ポーランド、南アフリカ共和国、ロシア、スロベニア、スイス、スウェーデン、スロバキア、タイ、台湾、ウクライナ、アメリカ、ウズベキスタン、日本

(9) 出場選手数(延人数)

| 種 目        | 男 子 | 女 子 | 計   |
|------------|-----|-----|-----|
| ボルダリング     | 104 | 89  | 193 |
| リード        | 99  | 92  | 191 |
| スピード       | 99  | 83  | 182 |
| コンバインド(複合) | 20  | 20  | 40  |
| 計          | 322 | 284 | 606 |

(10) 来場者数

| 日 程                       | メディア | 観戦者<br>(観戦選手含) | 計      |
|---------------------------|------|----------------|--------|
| 8 月 11 日(ボルダリング女子予選)      | 89   | 933            | 1,022  |
| 8 月 12 日(ボルダリング男子予選)      | 65   | 881            | 946    |
| 8 月 13 日(ボルダリング男女、準決勝／決勝) | 108  | 1,986          | 2,094  |
| 8 月 14 日(リード男女、予選)        | 56   | 668            | 724    |
| 8 月 15 日(リード男女、準決勝／決勝)    | 74   | 1,380          | 1,454  |
| 8 月 17 日(スピード男女、予選／決勝)    | 75   | 1,020          | 1,095  |
| 8 月 18 日(コンバインド女子、予選)     | 84   | 1,029          | 1,113  |
| 8 月 19 日(コンバインド男子、予選)     | 80   | 379            | 459    |
| 8 月 20 日(コンバインド女子、決勝)     | 118  | 1,722          | 1,840  |
| 8 月 21 日(コンバインド男子、決勝)     | 97   | 1,693          | 1,790  |
| 計                         | 846  | 11,691         | 12,537 |

(11) メディア等による扱い件数

- ① TV放映 119番組 露出時間 6時間4分4秒(NHK BS1生中継を除く)  
    <<放映番組>> NHK:サタデースポーツ他、NTV:ZIP、N スタ、NEWSZERO、  
                  TBS:S★1、あさチャン、NEWS23 他、CX:めざまし TV、  
                  S-PARK、EX:報道ステーション、サタデーLIVE 他
- ② 取材者 89社178名(うち海外メディア42名)

(12) その他

東京 2020 オリンピック競技大会代表選考大会(種目:コンバインド)として開催。日本選手では、男子の檜崎智亜選手、女子では野口啓代選手が、本大会で東京オリンピック日本代表に内定した。

### 3 大会誘致・開催支援の目的及び効果

本市では、これまで2回のボルダリングワールドカップが開催され、大会後も多くのメディアに取り上げられるなど、本市のPRに多大な効果をもたらした。

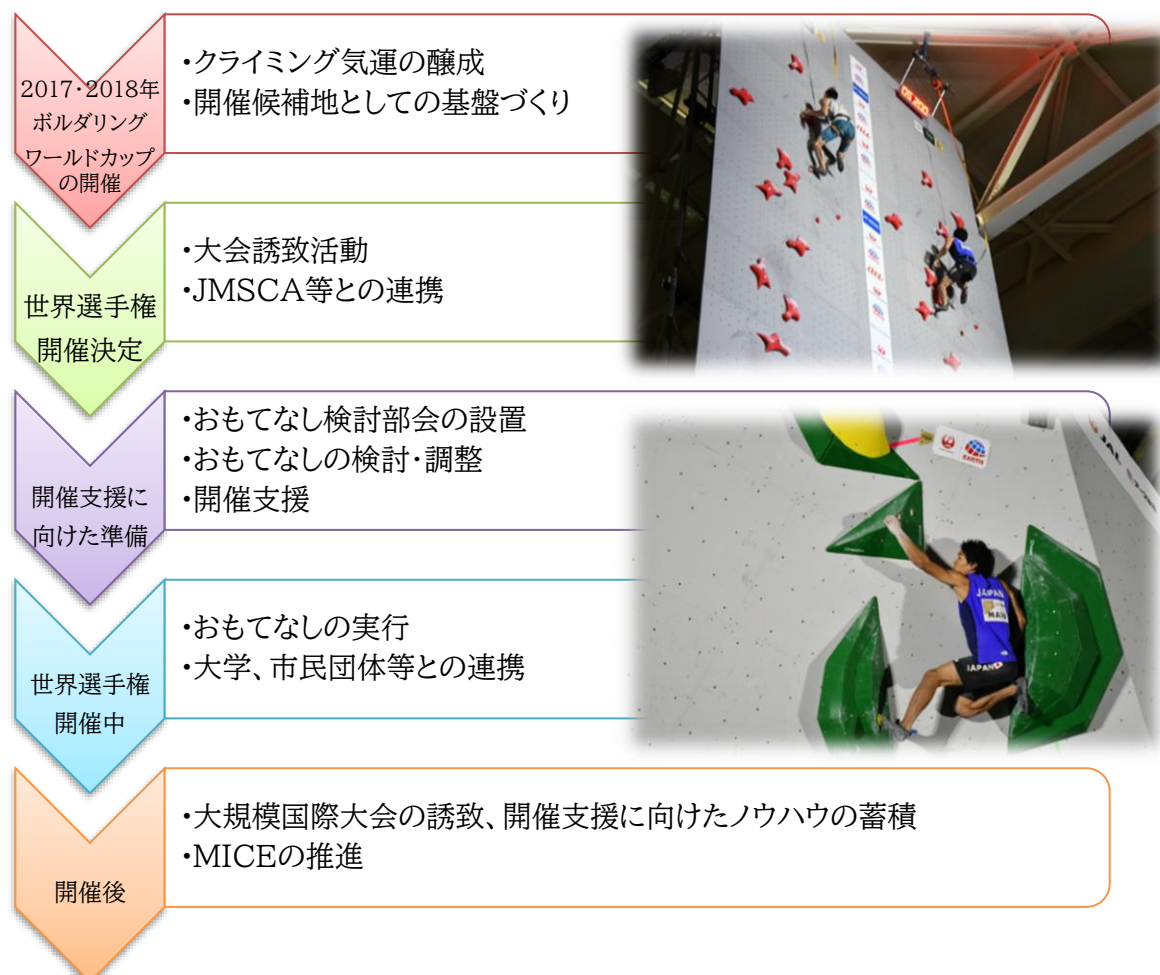
クライミング世界選手権はボルダリングワールドカップに比べ規模も数倍となり、本市の知名度向上や魅力発信などのPR効果がより大きく見込まれるとともに、翌年に控えた東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や市民のスポーツクライミングへの関心の高まりなど、スポーツ振興につながるものと期待できる。

また、大会参加者の市内での宿泊や飲食など、経済面での波及効果が見込めるとともに、大規模な国際大会の誘致や運営ノウハウの蓄積などにもつながり、今後、MICE戦略を進める中でも活かしていくことができることから、大会を誘致し、開催支援を行うこととした。

#### 《参考》

| 区 分     | 参加国数 | 出場選手数 | 入場者数  | メディア数 | 経済波及効果   |
|---------|------|-------|-------|-------|----------|
| BWC2017 | 27   | 138   | 4,257 | 190   | 6,130 万円 |
| BWC2018 | 27   | 159   | 5,271 | 184   | —        |

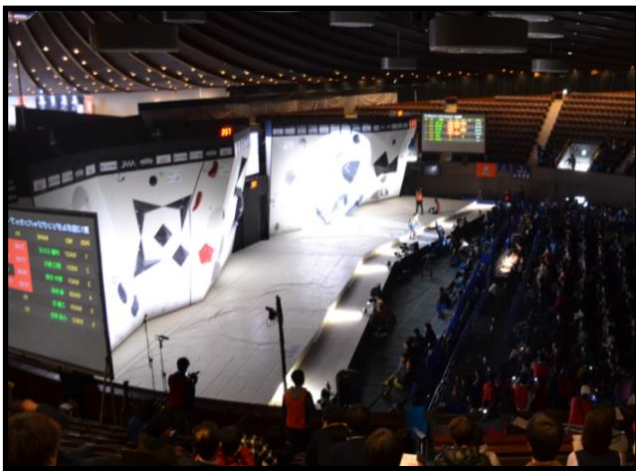
### 4 市の取り組みの全体像



## 5 開催に向けた取り組み（詳細）

### （1）ボルダリングワールドカップの開催

平成 29 年(2017 年)、平成 30 年(2018 年)とボルダリングワールドカップがエスフォルタアリーナ八王子で開催され、八王子市では大会のPRや選手・関係者を対象としたレセプションパーティを実施するなど、大会の成功に向け、様々な支援を実施。「スポーツクライミング世界最高峰の大会である世界選手権が開催可能な地」としての基盤を作りあげた。



◀ボルダリングワールドカップの様子▶

### （2）大会誘致

平成30年(2018 年)3月 17 日にインスブルックで開催された「IFSC総会」で、2019 年に開催予定の世界選手権の開催地についての協議がなされた。世界選手権は通常2 年ごとに開催されるが、2020 年の東京 2020 オリンピック競技大会と重なることから、前倒しで 2019 年に開催することとなり、会場も日本とすることが決定した。

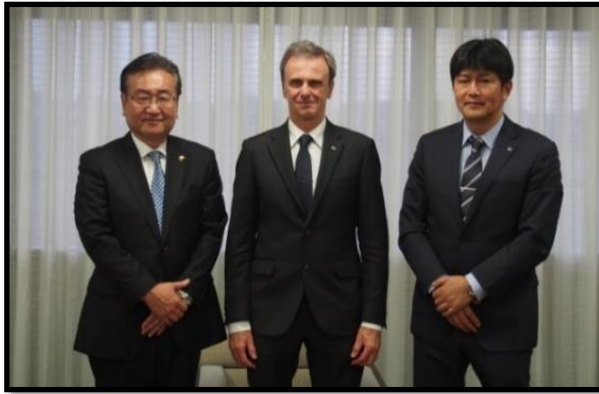
これを受け、本市では、エスフォルタアリーナ八王子での開催に向けて、本市在住で IFSC副会長である小日向徹氏と協力し、IFSCや日本開催の際の主催者となるJMSCA に対し、これまでのボルダリングワールドカップの開催実績、会場のアクセシビリティ等をアピールするなど、大会誘致に取り組んだ。

### （3）八王子市での開催決定

大会会場として、代々木体育館、さいたまスーパーアリーナ、武蔵野の森総合スポーツプラザ等、複数の候補が上がったものの、会場使用期間が数週間に及ぶこともあり、選定は難航していた。そのような状況の中、他の候補地に比べ会場のスケールメリット的に課題があったエスフォルタアリーナ八王子であったが、これまでのボルダリングワールドカップの開催実績や本市が実施した「おもてなし」などの開催支援の実績が高く評価され、八王子市での開催が決定した。

#### (4) IFSC会長の来訪

JMSCAによるエスフォルタアリーナ八王子での開催決定を受け、平成30年(2018年)11月29日、IFSCのマルコ マリア スコラリス会長と小日向 徹副会長が石森市長を表敬訪問に訪れ、世界選手権の開催に向けた計画や大会成功に向けた市の支援などについて話し合った。



左:石森市長

中央:マルコ マリア スコラリス IFSC 会長

右:小日向 徹 IFSC 副会長

#### (5) 開催に向けた支援実施の決定

大会の開催支援について、JMSCAからの「エスフォルタアリーナ八王子の施設使用と開催支援に関する依頼(平成30年4月3日付文書)」やIFSC会長来庁時における要望・確認事項、大会が本市にもたらす効果など、総合的な観点から検討を行い、政策会議等を経て、大会の成功に向けた支援の実施を決定した。

支援に関しては、過去2回のボルダリングワールドカップでの支援に加え、これまでの世界選手権等において開催都市が会場を提供していることを踏まえ、本市でもエスフォルタアリーナ八王子を市が会場として提供すること、また、本市の伝統芸能をはじめとした日本文化や市内の観光PRを踏まえた、本市独自の「おもてなし」を提供することとし、その内容については、若手職員を中心とした「おもてなし検討会」を設置し、(公社)八王子観光コンベンション協会等の外部組織と連携しながら検討を行うこととした。

#### 《決定の内容》

| 区 分                | 決定事項                                                                     |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| ボルダリング WC<br>同様の支援 | ・会場の早期予約<br>・大会実行委員会への参加<br>・周知、PRの協力<br>・通訳ボランティア等の配置<br>・レセプションパーティの実施 |
| 新たな支援              | ・会場の提供<br>・「新たなおもてなし」の実施<br>・医療連携など、選手が競技に集中できる環境整備                      |

## (6) JMSCAとの合同による記者会見の開催

平成31年(2019年)2月22日、八王子市役所にて、市とJMSCAの合同記者会見を開催し、「IFSCクライミング世界選手権2019八王子」の開催について、発表した。

記者会見には、「クライミングアジア2018選手権」のボルダリングと複合で優勝した檜崎明智選手も出席した。



左:八木原圀明 JMSCA 会長

中央:石森市長

右:檜崎明智 選手

### 《参加メディア》

読売新聞、朝日新聞、東京新聞、毎日新聞、産経新聞、八王子経済新聞、J:COM

## (7) IFSCによる記者会見

平成31年(2019年)3月16日、IFSCの総会が日本(品川プリンスメインタワー)で開催され、総会後の記者会見にて、国内外のメディアに向けて「IFSCクライミング世界選手権2019八王子」の概要が発表された。

会見には野中生萌選手、土肥圭太選手も出席し、大会に向けた抱負を語った。



▲記者会見でホストシティとして挨拶する石森市長

## (8) スポーツクライミング世界選手権八王子実行委員会

JMSCAが主体となって、大会に関する広報物や仮設物、全体スケジュール等を報告・協議する「スポーツクライミング世界選手権八王子実行委員会」に本市も参画し、ホストシティとしておもてなしの状況や取組内容等を報告・協議するなど、主催者と情報共有しながら、互いに協力し事業を進めた。

| 回数  | 開催日       | 内 容                     |
|-----|-----------|-------------------------|
| 第1回 | 平成31年1月8日 | 大会概要の説明等                |
| 第2回 | 令和元年5月28日 | 準備状況報告、大会スケジュール協議等      |
| 第3回 | 令和元年6月25日 | 床補強状況共有、ア kredィテーション説明等 |
| 第4回 | 令和元年7月23日 | 運営マニュアルの確認等             |

#### (9) 「IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子の開催支援に関する覚書」の締結

スポーツMICEの推進や地域経済の振興を図るには、本大会のような大規模国際スポーツ大会を継続的に誘致していく必要がある。主催者と交渉する中で、今大会での本市の開催支援を踏まえ、今後も、本市でのボルダリングワールドカップ等の継続的な開催について合意が図れたため、令和元年(2019年)6月5日にJMSCAと覚書を締結した。

#### 《覚書の内容》

- ① 八王子市は、大会会場となる八王子市総合体育館の使用料を予算の範囲内において負担する。なお、八王子市が負担する使用料の範囲は大会開催期間とし、開催に係る準備や機材の撤去に要する期間はこの限りではない。
- ② 八王子市は大会の周知や参加選手をはじめとした大会来訪者への対応など、大会の成功を支えるための支援を行う。
- ③ (公財)日本山岳・スポーツクライミング協会は、協会が開催するクライミング・ワールドカップ等の国際大会について、今後、八王子市での継続的な開催に努めるものとする。

## 6 「新たなおもてなし」の検討

レガシープラン推進会議の構成員である部の若手職員による「IFSCクライミング世界選手権2019八王子おもてなし検討部会」を組織し、(公社)八王子観光コンベンション協会等の外部組織と連携しながら、その内容について検討を行った。

#### ※ レガシープラン推進会議

「八王子市東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み方針(八王子レガシープラン)」に基づき、幅広い分野の施策を総合的に推進し、レガシープランに掲げたビジョン及びアクションを実現するための庁内組織

#### 《検討経過》

| 区分  | 開催日        | 内 容                               |
|-----|------------|-----------------------------------|
| 第1回 | 平成31年1月31日 | エスフォルタアリーナ八王子の現場確認、検討内容の説明        |
| 第2回 | 平成31年2月15日 | おもてなし案についての意見交換及び内容精査             |
| 第3回 | 平成31年3月6日  | 経費や実現性を考慮し、おもてなし案を具体化             |
| 第4回 | 平成31年3月28日 | 大会イラスト、副賞、記念品について協議。新たなおもてなしの案を決定 |
| 第5回 | 令和元年5月15日  | 記念品の内容について再協議。決定                  |

## 《おもてなし検討部会メンバー》

| 所 属                 | 役職   | 氏 名           |
|---------------------|------|---------------|
| 都市戦略部都市戦略課          | 主事   | 勝沼 久美         |
| 総合経営部経営計画第一課        | 主任   | 田中 良篤         |
| 市民活動推進部学園都市文化課      | 主事   | 田邊 紀博         |
| 市民活動推進部多文化共生推進課     | 主任   | 波多野 周         |
| 福祉部生活福祉地区第二課        | 主事   | 後藤 美紗樹        |
| 健康部生活衛生課            | 主事   | 富山 善登         |
| 産業振興部産業政策課          | 主事   | 我那覇 一臣        |
| 産業振興部観光課            | 主事   | 田丸 大二郎        |
| 産業振興部観光課            | 主事   | 船木 勇人         |
| 産業振興部観光課            | 主事   | 伊藤 昇          |
| 産業振興部観光課            | 主事   | 野沢 翔吾         |
| 学校教育部施設管理課          | 主事   | 廣重 彰一         |
| 生涯学習スポーツ部スポーツ振興課    | 主事   | 岡崎 稔          |
| 生涯学習スポーツ部スポーツ施設管理課  | 主任   | 安原 千夏         |
| 産業振興部産業政策課          | 課長補佐 | 志村 慶太(オブザーバー) |
| (公社)八王子市観光コンベンション協会 | －    | 湯村 亜衣子        |
| オリンピック・パラリンピック推進室   | 主幹   | 坂口 崇文         |
| オリンピック・パラリンピック推進室   | 主査   | 高山 友紀         |
| オリンピック・パラリンピック推進室   | 主任   | 野口 智久         |

## 《検討結果》

| 分類        | 内 容                                                          | 目 的                                                  |
|-----------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 大会 PR     | ● 会場周辺及び中心市街地での横断幕、のぼり、街路灯フラッグ等の設置                           | ・市民への大会周知、国内外来訪者向けの歓迎                                |
| 食         | ● 中心市街地での食イベント「バルベリー」の実施及び参加選手へのチケット配付                       | ・市内飲食店と連携した全市的な盛り上げ、賑いの演出                            |
|           | ● 八王子の特色を活かした食の提供<br>・会場内のキッチンカーやブースで販売                      | ・本市の食を含めた魅力を国内外に発信                                   |
|           | 市内観光ツアー                                                      | ・市内の見どころ、隠れた魅力の発信                                    |
|           | 大会イラスト制作及び活用<br>● 市内大学との連携による大会イメージイラストの制作及び選手や来場者向け記念品等で活用  | ・「八王子」「クライミング」「日本らしさ」をイメージしたイラストを作成し、本市の魅力発信及び大会盛り上げ |
| 本市 PR     | ● 選手記念品<br>・大会イラストを活用し、市内工場で手捺染技法により染めた風呂敷を選手へ贈呈             | ・イラストによる本市の魅力発信及び市内工場の技術力の発信                         |
|           | ● 副賞(各種目の男女1位～3位選手対象)<br>・八王子織物(ネクタイやストール等)を入賞者へ市からの副賞として贈呈  | ・本市の伝統工芸や地場産業の発信                                     |
|           | 来場者記念品<br>● 大会期間中のおもてなし全容をお知らせするQRコード付きの大会イラストデザインの扇子を来場者に配布 | ・市内観光ツアー、バルベリー開催やボルダリングジムでのサービス等、大会期間中の本市おもてなし内容の周知  |
|           | ● 記念撮影用パネル<br>・大会イラストを活用した記念撮影用パネルを会場に設置。                    | ・SNS等を介した国内外への本市の魅力発信                                |
| 来場者へのサービス | 会場内の受付・通訳案内所への通訳配置                                           | ・八王子国際協会等と連携した多言語対応サービスの提供                           |
|           | 大会中の医療体制整備                                                   | ・東京医科大学八王子医療センターの協力による来場者の緊急時の医療体制整備                 |
|           | 市内ボルダリングジムの割引等サービス                                           | ・来場者へのボルダリング体験機会の提供、競技の魅力発信                          |
| (選文化体験)   | 浴衣着付け<br>● 山野美容芸術短期大学の協力により、主として海外選手、観戦客に向けた浴衣着付け体験          | ・日本文化体験機会の提供                                         |
|           | ● 八王子芸妓衆の踊り披露<br>・選手、関係者向けオープニングセレモニーでの披露                    | ・本市伝統文化の魅力発信                                         |

※ ●は、(公社)八王子観光コンベンション協会への委託により実施

## 7 大会開催支援の内容

### (1) 開催支援経費(実績ベース)

|                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| おもてなし関連経費<br>6,759,970円   | 大会PR経費<br>2,345,664円      |
| 事業費:18,432,395円           |                           |
| 大会運営・レガシー経費<br>1,297,601円 | 会場提供(使用料負担)<br>8,029,160円 |

### (2) 「おもてなし」の内容(おもてなし検討部会の案を基に決定)

#### ① 周知・PR 及び大会運営

| 事 項             | 内 容                                    | 実施期間           | 実施・協力団体等                   |
|-----------------|----------------------------------------|----------------|----------------------------|
| 大会PR、開催機運の醸成    | 中心市街地、会場周辺での横断幕、のぼり、フラッグの掲出            | 7月下旬～大会期間中     | セレオ・中心市街地商店街等              |
| 大会イラストの制作       | 「八王子」、「クライミング」、「日本らしさ」をキーワードにしたイラストを制作 | —              | 東京造形大学<br>宮崎勇次郎助教          |
| 表彰式でのアテンド       | メダル・副賞の授与に際し、振袖等による大学生がアテンドする          | 大会期間中          | 山野美容芸術短期大学<br>大学コンソーシアム八王子 |
| フラッグセレモニーにおける旗手 | 参加39か国の旗を並べるセレモニーにおいて中学生が旗手を担う         | 開会式<br>(8月10日) | 各中学校                       |
| 通訳の配置           | 大会会場内に通訳を配置                            | 大会期間中          | NPO法人八王子国際協会等              |
| 医療体制の整備         | 来場者等に対する緊急時における医療対応体制を整備               | 大会期間中          | 東京医科大学八王子医療センター            |

#### ② 選手・来場者へのサービス

| 事 項                     | 内 容                                                  | 実施期間           | 実施・協力団体等      |
|-------------------------|------------------------------------------------------|----------------|---------------|
| 来場者への記念品(扇子)の配布         | 大会イラストやバルベリー等のおもてなし情報を発信するHPのQRコードを記載した扇子を作製し、来場者に配布 | 大会期間中          |               |
| 日本文化体験                  | 大会会場内に浴衣の着付けコーナーを設置                                  | 8月13日～15日      | 山野美容芸術短期大学    |
| 記念撮影用パネルの設置             | 大型の大会イラストパネルを記念撮影用として大会会場内に設置                        | 大会期間中          |               |
| 伝統文化の披露                 | オープニングセレモニー時に、八王子芸妓衆による舞を披露し、伝統文化の魅力を発信              | 開会式<br>(8月10日) |               |
| 八王子の特色を活かした食・土産品の提供     | 大会会場にて、出店やキッチンカーによる食・土産品の提供を実施                       | 8月13日～         | 狭間駅前商店会 など    |
| 「バルベリー八王子(食のイベント)」の開催   | 中心市街地にて飲食店等との協働による食のイベントを開催し、賑わいを創出(参加選手にチケットを配付)    | 大会期間中          | バルベリー八王子実行委員会 |
| 市内ボルダリングジムでの優待利用サービスの実施 | 大会来場者等に市内ボルダリングジムでの優待利用サービスを実施                       | 大会期間中          | 民間ボルダリングジム    |
| 市内観光ツアーの実施              | 高尾山、駒木野庭園や広園寺(座禅体験)等の「市内観光プログラム」を実施                  | 大会期間中          | 京王観光株式会社      |
| 市民観戦招待                  | 市民50組100名を無料観戦に招待(抽選)                                | 大会期間中          |               |
| 大会参加選手への記念品の配付          | 大会イラストを活用した手染めの風呂敷を、大会参加の記念品として配付                    | 大会期間中          | 株式会社勝田ナセン     |
| 入賞者への副賞                 | 各競技種目の入賞者(1～3位)に、副賞として「八王子織物ネクタイ・ストール」を贈呈            | 大会期間中          |               |

## 8 おもてなしの詳細及び実績

### (1) 大会オリジナルイラストの作成

包括連携協定を締結している東京造形大学の宮崎勇次郎助教の協力を得て、「八王子」、「クライミング」、「日本らしさ」をイメージしたイラストを作成。選手や来場者の記念品などのデザインとして活用した。



#### 《参考》

宮崎勇次郎 Miyazaki Yujiro

1977 年 大分県生まれ

日本のパブリックアートである銭湯のペンキ絵をベースに、公共の場、社会における具象絵画の在り方を考え、時代の背景としての絵を追求。また自然に対する人の有り様、取り巻く社会環境、時代と共に変化する価値観を具象絵画のもつアンビバレンス性を用い制作。

## (2) 大会 PR

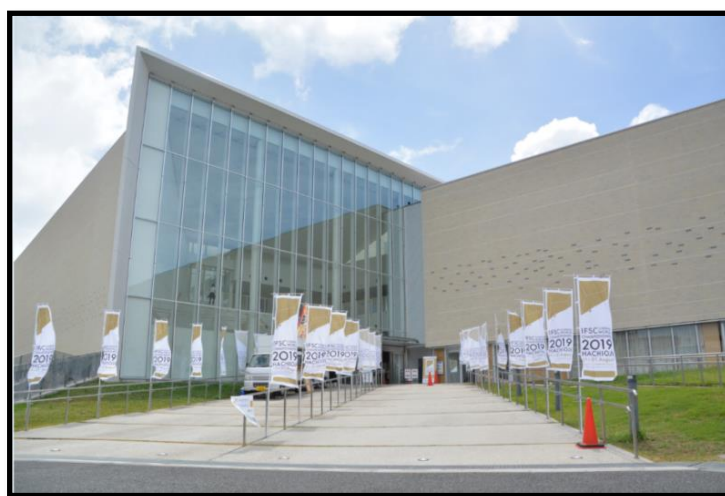
地域をあげて大会を盛り上げるとともに、大会来場者等の歓迎ムードを演出するため、様々なPRを行った。

### ① 横断幕 4 か所(八王子駅北口・南口、八王子市役所、イーアス高尾)



▲掲出の様子

### ② のぼり 35 枚(エスフォルタアリーナ八王子周辺)



▲掲出の様子

③ 街路灯フラッグ 291 枚



掲出の様子▶

《掲出先一覧》

| 商店街等          | 枚数 |
|---------------|----|
| 八王子駅北口商店会     | 10 |
| 三崎町商研会        | 28 |
| 三和会商店街        | 61 |
| 銀座通商栄会        | 41 |
| 中町商店会         | 5  |
| 西放射線通り商店街振興組合 | 28 |
| パーク壺番街商店会     | 42 |
| 横山町モール街       | 14 |
| 京王八王子商店会      | 15 |
| れんが通り(市管理)    | 18 |
| 長小路通り(市管理)    | 12 |
| 南口デッキ(市管理)    | 17 |



④ 懸垂幕 1 枚(セレオ八王子北館)

⑤ ポスター・チラシ

A1:50 枚、A2:300 枚、A3:100 枚、A4:2,000 枚

市関連施設、ホテル、観光案内所、  
八王子駅、狭間駅等へ掲示



### (3) 中心市街地での食イベント「バルベリー」の実施

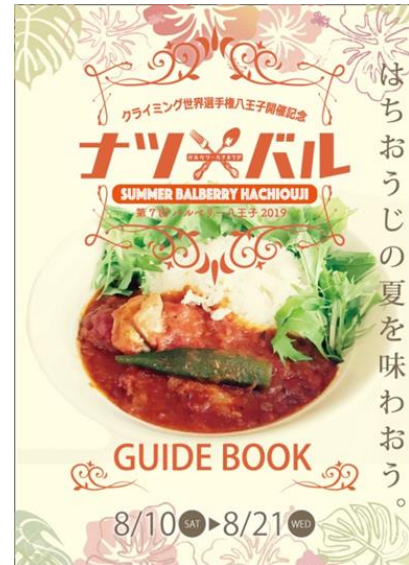
例年秋に八王子駅周辺で開催されている食のイベント「バルベリー八王子」を、バルベリー八王子実行委員会の協力を得て、世界選手権の大会期間に合わせ、「ナツバル」として開催した。

チケットは選手や関係者に配付するとともに、一般販売を行い、地元のおもてなしとして八王子の食文化に触れてもらうとともに、大会の歓迎ムードを創出した。

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 開催期間  | 8月10日～21日(12日間) |
| 参加店舗数 | 55店舗            |
| 販売等冊数 | 902冊(3チケット／冊)   |

内訳:選手等配付 410 冊、一般販売492冊

|         |        |       |
|---------|--------|-------|
| チケット使用率 | 選手・関係者 | 29.4% |
|         | 一般     | 56.3% |



### (4) 選手記念品の制作

大会オリジナルイラストを活用した手染めの風呂敷を制作し、大会参加記念品として、選手や大会関係者に贈呈した。また、フラッグセレモニーで旗手を務めた中学生をはじめ大会の成功を支えた関係者にも贈呈した。風呂敷の製作は、株式会社勝田ナセンが担い、大会会場での「EXPO」にも出店いただくなど、市内事業者の技術力の高さを発信した。

制作枚数 680 枚



## (5) 特設 HP 及び選手向け小冊子の作成

外国人選手や海外からの来訪者へ本市の取り組み内容を周知する方法として、英語表記した特設の HP と英語版小冊子を作成した。

小冊子は選手全員へ配付し、HP へリンクできるように QR コードを設定。HP もすべて英語化し、視覚的にもわかりやすいよう制作した。



HPアクセス延件数      2,930 件  
(令和元年(2019 年)8 月 31 日時点)



## (6) 来場者記念品の制作

大会来場者への記念品として、扇子を制作し、会場で配布した。

扇子には、大会期間中に実施する本市の「おもてなし」の内容をお知らせする QR コードを付し、周知や利用を図った。

配布数      10,000 本



▲職員が配布する様子

## (7) 入賞者への副賞

大会入賞者への副賞として、本市の伝統工芸品である「八王子織物」のネクタイ・ストールを贈呈し、本市の地場産業をアピールした。



#### (8) 本市伝統文化の魅力発信

本市の伝統芸能である「八王子芸妓衆」による舞いをオープニングセレモニーで披露し、選手・関係者へ本市の魅力を発信した。



▲オープニングセレモニーの様子



#### (9) 日本文化体験機会の提供

包括連携協定を締結している「山野美容芸術短期大学」との連携により、選手や外国人来訪者を対象に、会場内で浴衣の着付け体験を実施した。



▲着付け体験の様子



▲着付け後、体験者のスマートフォンで撮影

体験参加者 18 か国 66 名(8 月 13 日～15 日 3 日間)

〈18か国の内訳〉

ロシア、イギリス、ドイツ、アメリカ、南アフリカ共和国、タイ、ベルギー、エクアドル、ブラジル、日本、フィリピン、バングラデシュ、アルゼンチン、ニュージーランド、イタリア、インド、中国、ベネズエラ

## (10) SNS 等を介した国内外への本市の魅力発信

大会オリジナルイラストを活用した記念撮影用パネルを会場内に設置し、SNS 等で本市の魅力が発信されるよう促した。



▲掲出の様子



▲競技終了後の野口啓代選手も利用

## (11) 本市の食を含めた魅力を国内外へ発信

大会期間中、会場では「EXPO」が開催され、ボルダリングの体験ブースや物販が行われた。本市で生産された食品や様々な魅力を国内外へ発信するとともに、地域経済の振興につなげるため、地元商店会等による EXPO への出店やキッチンカー販売を行った。



▲出店の様子



▲キッチンカーの様子

### EXPO 出店

ブルーランジェリーアツシ(米粉パン)、ミルクアイス MO-MO(ジェラート)、パティスリーメゾン(焼菓子等)、ピースメイキング(タルト)、高尾ポテト(スイートポテト)、染八からん(染物販売)、LAMP COFFEE(コーヒー等)、狭間商店会(軽食等)、(公社)八王子観光コンベンション協会(観光案内)

### キッチンカー出店

サザン テラス ミウ(八王子ナポリタン)、煌楽〜Kiraku〜(焼きそば等)、Twins café(タピオカドリンク等)、ダ ルチアーノ(ジェラート等)

## (12) 通訳案内の設置

NPO 法人八王子国際協会等の協力のもと、大会期間中、選手や外国人来訪者向けの通訳案内所を会場内に設置した。



▲案内所を開設



▲来場者の要望にも臨機応変に対応

|       |                                                                            |
|-------|----------------------------------------------------------------------------|
| 通訳参加者 | 国際協会 延 38 名 市内大学生 19 名                                                     |
| 対応件数  | 約 220 件                                                                    |
| 対応内容  | ・トイレ、席、喫煙所など場所についての案内<br>・プログラム、スケジュールについて案内<br>・チケット案内、浴衣の着付け案内、選手の病院付添い等 |

## (13) フラッグセレモニーにおける中学校生徒の参加

令和元年(2019 年)8 月 10 日(土)に京王プラザホテル八王子「翔王」で選手登録が行われた。登録に合わせ、会場ではオープニングセレモニーが開催され、選手・関係者が集合した。セレモニーのコンテンツの一つである「フラッグセレモニー」では、市立中学校生徒が旗手として入場行進を行い、参加した39の国・地域のフラッグを掲げた。



▲オープニングセレモニーの様子



▲旗手を務める中学生

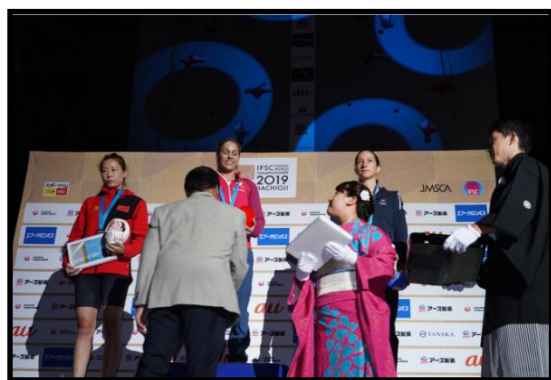
#### (14) 医療体制の整備

本市が包括連携協定を締結している「東京医科大学」の八王子医療センターの協力のもと、大会期間中、会場内に医師、救急救命士、看護師を配置し、選手が安心して競技に専念できる環境整備や来場者への緊急時における対応など、医療面からも大会運営を支えた。

常駐者(延人数) 医師 11 名、救急救命士 2 名、看護師 16 名

#### (15) 表彰式での介添え

各種目の最終日に表彰式が行われ、副賞として八王子織物のネクタイ・ストールを市長から入賞者へ贈呈した。その際、大学コンソーシアム八王子を通じて依頼した、市内の大学生が介添人を務めた。また、山野美容芸術短期大学の協力により、着物を着た大学生が介添えしたことで、日本文化や八王子織物の魅力発信につながった。



▲表彰式の様子



▲着物と着付けは山野美容芸術短期大学が協力

## 9 「観る」機会の創出

市民に、国際スポーツ大会を「観る」機会を提供し、東京 2020 大会の機運醸成やクライミング競技の普及を図るとともに、今後のスポーツ振興に繋げていくため、主催者と連携し、無料招待を実施した。募集は、「広報はちおうじ」と「市ホームページ」で行い、応募者多数であったため抽選での招待となった。

| 日程         | 競技種目          | 募集組数    | 応募数     |
|------------|---------------|---------|---------|
| 8月11日(日)   | ボルダリング/女子/予選  | 10組 20名 | 26組 52名 |
| 8月12日(月・祝) | ボルダリング/男子/予選  | 10組 20名 | 23組 46名 |
| 8月14日(水)   | リード/男女/予選     | 5組 10名  | 21組 42名 |
| 8月17日(土)   | スピード/男女/予選・決勝 | 5組 10名  | 19組 38名 |
| 8月18日(日)   | コンバインド/女子/予選  | 10組 20名 | 42組 84名 |
| 8月19日(月)   | コンバインド/男子/予選  | 10組 20名 | 25組 50名 |

## 10 大学や団体等との協働

大会の開催支援にあたっては、(公社)八王子観光コンベンション協会をはじめ様々な団体や民間事業者と協働して取り組み、市をあげて多方面から大会の成功を支えた。

### (1) (公社)八王子観光コンベンション協会

MICE 推進の核を担う協会と協働して取り組んだことにより、協会が持つ経験やノウハウを活かした多面的な視点からの開催支援が行え、大会の盛り上げにつながった。

### (2) NPO 法人八王子国際協会

大会会場において外国人選手や来訪者を対象とした通訳業務を行い、200 件以上の問合せに対応いただいた。外国人来訪者にきめ細やかな配慮がなされただけでなく、市民や学生など、様々な方が大規模な国際大会に関わる機会を設けることができた。

### (3) 大学等連携

包括連携協定に基づき、市内の大学等と協働して大会を支えた。

#### ① 東京医科大学八王子医療センター

会場内において、医師、救急救命士、看護師に常駐いただき、選手や来場者を対象とした医療体制を整備し、医療面から大会運営を支えることができた。

#### ② 山野美容芸術短期大学

会場内に設置した日本文化体験コーナーでの「浴衣の着付け」や、表彰式での介添え者の着付けに協力をいただき、日本文化の魅力を発信することができた。

#### ③ 大学コンソーシアム八王子・八王子学生委員会

通訳案内や表彰式でのアテンダントとして、大学コンソーシアム八王子を通じて市内大学生が参加し、大会をサポートした。

#### ④ 明星大学 経済学部 小林ゼミ

大会開催による経済波及効果を推計いただき、今後の MICE 推進を踏まえた大会誘致による効果の検証が行えた。

#### ⑤ 東京造形大学(宮崎勇次郎助教)

「八王子」、「クライミング」、「日本らしさ」をイメージしたイラストの作成にご協力いただき、大会 PR の大きな一役を担った。

### (4) イーアス高尾

各店舗の協力により、チケットや AD(スタッフパス)を会計時に提示すると、割引が受けられるサービスを実施いただいたとともに、ポスター、横断幕掲示等、大会 PR にもご協力いただいた。また、大会観戦者に無料で駐車場を開放していただいた。

## (5) 民間ボルダリングジム

ボルダリングジムの協力により、観客へのサービスや選手の練習環境の充実が図れた。

### ① ディーボルダリング八王子

ア チケット半券の提示で、店舗会員登録済みの方は利用料が 500 円(税込)。初めての方は初回登録料(1,500 円)が無料

イ 選手向けの早朝開店。8 月 10 日(土)～8 月 21 日(水)まで 8:00 オープン、選手の利用は無料

### ② クライミングジム パーチ

チケット半券の提示で、初回登録料無料(期間内)。

既会員は、利用料 500 円引き及びレンタル料無料



## (6) 民間観光事業者

観光面から本市の魅力を発信し、選手や関係者等の再訪につなげていくため、京王観光(株)と連携し、高尾山や駒木野庭園、広園寺での座禅体験等の「市内観光ツアー」を企画した。 ※参加申し込みなく、未実施となった。

## (7) バルベリー八王子実行委員会

まちをあげて大会来訪者を歓迎するとともに、八王子の夏を味わってもらうため、例年秋に開催している食のイベント「バルベリー八王子」を、世界選手権の大会期間にあわせ「ナツバル」として開催いただいた。海外からの来訪者向けに、英語版のパンフレットやホームページも作成するなど、インバウンド対応を踏まえ実施いただいた。

# 11 経済波及効果

## (1) 推計依頼先 明星大学経済学部 小林ゼミ(29 年度ボルダリング WC 算出委託先)

## (2) 推計に当たって

大会運営費や市内での宿泊状況、来場者へのアンケート結果等を基に、平成 29 年度に実施した「IFSC ボルダリングワールドカップ八王子 2017」の経済波及効果分析と同様の手法で推計した。推計は、開催前の見込みによる推計と実績を基とした開催後の算定の2回を実施した。

## (3) 推計結果

| 区 分       | 実績に基づく算定      | 開催前推計         |
|-----------|---------------|---------------|
| 直接効果      | 141,577,442 円 | 160,150,401 円 |
| 間接効果(一次)  | 50,070,819 円  | 17,695,804 円  |
| 間接効果(二次)  | 13,929,065 円  | 13,293,626 円  |
| 計(経済波及効果) | 205,577,326 円 | 191,139,831 円 |

## 12 大会レガシーの設置

大会のレガシーとして、大会で実際に使用されたホールドを用いてコンバインド男子決勝(ボルダリング)の課題を一部再現した小型のモニュメントを制作し、会場となったエスフォルタアリーナ八王子へ設置した。

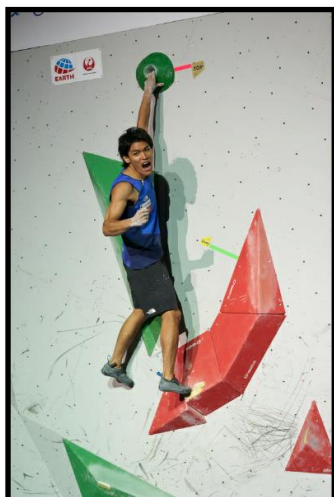
大会で実際に使用された「クライミング壁」のエスフォルタアリーナ八王子への設置についても検討したが、常時設置するスペースの確保や耐久性、安全面で課題があったため、モニュメントの設置とした。



▲製作したモニュメント



《コンバインド男子決勝(ボルダリング)の様子》



◀▲モニュメントに使用したホールド

### 13 スポーツクライミングアメリカ代表チームの強化合宿受け入れ

東京 2020 大会に向けた事前キャンプ受け入れについての覚書を締結した「USA CLIMBING」が、東京 2020 大会代表選手選考会でもある世界選手権の開催に合わせ、本市で強化合宿を実施した。市では、強化合宿を受け入れ練習会場等を提供するとともに、東京 2020 大会後の継続的な交流も視野に入れ、選手や関係者と市民の交流機会を創出した。

(1) 合宿期間 令和元年(2019 年)8 月 2 日(金)から 22 日(木)

(2) 練習会場

- ① ディーボルダリング・八王子(八王子市中町 2-1)
- ② モリパーク・アウトドアヴィレッジ(昭島市田中町 610-4)

(3) 宿泊場所 京王プラザホテル八王子(八王子市旭町 14-1)

(4) 参加者 選手:12 名 コーチ等関係者:8 名 計 20 名

(5) 市民交流

① 小学校訪問

日 時 令和元年(2019 年)8 月 3 日(土)10:00~13:00

会 場 第五小学校

参加者 Marc Norman/Josh Larson/Meg Coyne/Nick Foster/  
Rudoulph Ruana/John Brosler/Sienna Kopf/Isabel Gifford/ジ  
ョン・大森(USOC)/マイケル・ターナー(米国大使館 文化・スポーツ交流  
担当官)/第五小学校児童約 120 名

内 容 子供たちから選手への英語質問・書道体験・クライミング指導・給食交流



▲集合写真



▲書道体験の様子



▲ボルダリング指導の様子



▲給食交流の様子

② 八王子まつり

日 時 令和元年(2019年)8月3日(土)  
18:00~19:30

参加者 Marc Norman/Josh Larson/  
Meg Coyne/Nick Foster/  
ジョン・大森(USOC)

内 容 山車巡行等への参加(上八日町町会)

山車を引く USA チームの様子▶



③ ボルダリング教室

日 時 令和元年(2019年)8月5日(月)13:00~15:30

会 場 クライミングジム バーチ

対 象 市内在住・在学の小中学生  
 初心者の部:15名(応募者数 178名)  
 経験者の部:15名(応募者数 32名)

参加者 Marc Norman/Meg Coyne/Isabel Gifford/教室参加者 30名

内 容 初心者の部、経験者の部に分かれ、直接指導  
 アメリカチームからチームウェアのプレゼント



▲プレゼントの様子



▲直接指導する様子

## 14 総括

日本初開催であり、東京 2020 オリンピック競技大会の代表選手選考も兼ねていたことから、大会の様子が連日、メディアに取り上げられ、本市の知名度向上や魅力発信につながったとともに東京2020大会の機運醸成が図れた。経済面でも約2億円の経済波及効果が推計され、多方面での効果が得られたものとする。

また、トップアスリートによる競技の身近な場所での観戦やアメリカ合衆国スポーツクライミングチームの強化合宿における小学校訪問などの市民交流をととして、「観る・する・支える」スポーツの創出や子どもたちをはじめとした市民のスポーツクライミングへの関心の高まりなど、スポーツ振興に一定の効果があつたとともに、新たな国際交流や多文化理解のきっかけとなるなど、レガシープランの実現に向けた一助となった。

大会の開催支援にあたり、複数部署の若手職員を中心に新たな支援策について検討を重ね、大会運営にも携われたことは、今後の国際スポーツ大会の開催に向けた職員の対応能力の向上やノウハウの蓄積につながったほか、様々な団体等と協働して取り組んだことにより、インバウンド対応など、各団体がこれまで行っていた取り組みを深化させたことや新たなイベントの誘発につながったことは、今後の MICE 誘致の上でも大きな財産になった。

さらに、今回の大会支援に伴い、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会と、「今後も八王子市で国際大会の継続的な開催に努める」との覚書を締結したことは、MICE 誘致の推進につながるものとなったが、一方で、大会に併せて企画した中心市街地でのイベントが「まちの大きな賑わい」にはつながらなかったことや、「市内観光ツアー」の参加申し込みがなく未実施に終わったことは、大会の開催を地域の活性化にどうつなげていくかという点において、企画の魅力や情報の発信などの課題も残った。

今後は、大会開催による効果を経済発展、地域活性化にしっかりとつなげていくためにも、大会主催者と十分な協力体制を築きながら今回把握した課題への対応を進め、新たな大会の誘致に取り組んでいく必要があるとともに、「本市で世界選手権大会が開催された」という実績を踏まえ、スポーツクライミングの魅力、楽しさを市民に広く伝え、関心を更に高めていくための環境づくりを進める必要がある。



## 15 参考（大会の様子）

### 《大会会場》



### 《競技》



### 《オープニングセレモニー》



添 付 資 料



## 記者会見等での市長挨拶

### 【開催発表記者会見(平成31年2月22日)】

平成29年、30年と2年連続して「ボルダリングワールドカップ」が本市で開催され、回を増すごとに来場者やメディア報道が増えるなど、東京2020大会が近づくにつれ、注目度が高まっていると感じています。

本市でも、市内小学校の体育館や児童館に壁が設置され、子どもたちがボルダリングに触れる機会が増えています。また、日本選手の活躍によりボルダリング人気が高まり、市内でも民間ボルダリングジムの店舗数が増えるなど、市民がボルダリングを気軽に楽しめる環境が充実し、関心の高まりや反響を実感しています。

8月の世界選手権は、クライミング競技の世界最高峰の権威ある大会であり、また、東京2020大会の予選会も兼ねて開催されることから、極めて注目度の高い大会になることは間違いなく、市としても八王子の魅力を全世界に発信する好機と捉えています。

世界選手権の成功を支えるため、大会期間中、選手や多くの来場者が、八王子を楽しみ、また八王子を訪れたいと感じてくれるよう、会場周辺や中心市街地で様々な仕掛けを用意してお客様をお迎えし、大会を盛り上げてまいります。過去2度の大会実績が評価され、今回このような世界最高峰の大会が本市で開催されることは、非常に光栄であり、市民の皆様には、是非この機会に会場までお越しいただき、世界トップレベルのパフォーマンスをご覧いただきたいと思っています。

最後に、東京2020大会の開催まで1年半となりました。今年の7月には、南大沢エリアで自転車競技ロードレースのテストイベント、8月にはこの世界選手権が開催され、来年の本番大会まで大型スポーツイベントが開催されるこの好機を本市のスポーツ振興に繋げてまいります。

### 【オープニングセレモニー(令和元年 8月10日)】

国際スポーツクライミング連盟、並びに日本山岳・スポーツクライミング協会の皆様におかれましては、世界最高峰の素晴らしい大会を、ここ八王子市で開催していただき、深く感謝申し上げます。そして、選手及び各国関係者の皆様、ようこそ八王子市においでくださいました。

八王子市は、100年以上の歴史を持ち、人口58万人の東京の中核都市として発展しています。また、ミシュラン三ツ星の高尾山をはじめとする豊かな自然や日本の100名城に選ばれた八王子城や滝山城など、様々な名所や旧跡がございます。大会の最中ではありますが、是非この機会に、八王子の様々な名所を訪れていただければと思います。

また、今大会の開催にあたり、八王子市では様々な「おもてなし」をご用意しました。日本の伝統的な手染めで作製した「風呂敷」のプレゼントや、八王子駅周辺での食のイベント「バルベリー八王子」の開催、大会会場での「浴衣の着付け体験」など、皆様に喜んでいただける催しをご用意しております。皆様へお配りした冊子の中に詳細が載っておりますので、是非ご覧いただき、ご利用いただければと思います。

さて、東京2020大会まで残すところ1年を切り、日本国内でも大会に向けた機運が高まってまいりました。特に東京大会で初めて採択されたスポーツクライミングに関しましては、世界的にも注目度が高い競技であります。世界選手権の上位入賞者にはオリンピックへの出場枠が与えられるということで、オリンピックへ出場する選手が目の前で誕生するという非常に貴重な瞬間に立ち会えること、私自身非常に楽しみにしています。

選手の皆様におかれましては、万全の体調で臨んでいただき、これまでのトレーニングの成果を十分に発揮していただければと思います。今日は、この後、八王子芸妓衆による歓迎の舞を披露させていただくこととしております。日本、そして八王子の伝統文化をじっくりとご堪能ください。

結びに、出場される選手の皆さんのご活躍と、世界選手権のご成功を祈念し、ご挨拶とします。



# 覚 書

## 「IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子」の開催支援に関する覚書

八王子市（以下「甲」という。）と公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「乙」という。）は、乙が国内初として八王子市総合体育館で開催する「IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子」（以下「大会」という。）における甲の開催支援に関し、下記のとおり合意し、本書を締結する。

### 記

- 1 甲は、大会会場となる八王子市総合体育館の使用料を予算の範囲内において負担する。なお、甲が負担する使用料の範囲は大会開催期間とし、開催に係る準備や機材の撤去に要する期間はこの限りでない。
- 2 甲は、大会の周知や参加選手をはじめとした大会来訪者への対応など、大会の成功を支えるための支援を行う。
- 3 乙は、乙が開催するクライミングワールドカップ等の国際大会について、今後、八王子市での継続的な開催に努めるものとする。

令和元年（2019 年）6 月 5 日

甲 八王子市元本郷町 3-24-1

八王子市

八王子市長 石森 孝志



乙 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

会長 八木原 罔明



# 明星大学による経済波及効果推計概要

明星大学からの概要報告

IFSC クライミング世界選手権大会の経済波及効果の推計について(概要)

## 主要な結果

今回の推計では、想定金額の違いから、高い水準での推計値(以下、高位推計値)と標準的な水準での推計値(中位推計値)の2ケースで推計を実施している。

まず、以下に示したものが、高位推計値である。直接効果及び間接効果を合わせた経済効果は約2億558万円と推計され、2017ボルダリングワールドカップ(以下、17大会)の3.34倍程度の経済効果が推計された。

単位：円

|          | 経済効果        |             |
|----------|-------------|-------------|
| 直接効果     | 141,577,442 | 191,648,261 |
| 間接効果(1次) | 50,070,819  |             |
| 間接効果(2次) | 13,929,065  | 13,929,065  |
| 経済効果計    | 205,577,326 |             |

想定金額(主にアンケート)

外生変数①：民間消費支出

| 1人1日当たり金額(円) |         |
|--------------|---------|
| 交通費          | 297.2   |
| 宿泊           | 908.1   |
| 外食           | 1,263.6 |
| 弁当           | 219.7   |
| その他          | 139.5   |

| 総額  |            |
|-----|------------|
| 交通費 | 3,726,117  |
| 宿泊  | 8,216,247  |
| 外食  | 11,433,324 |
| 弁当  | 1,987,876  |
| その他 | 1,262,353  |
| 合計  | 26,625,917 |

外生変数②：家計外消費支出

|       | 単位：円       |
|-------|------------|
| IF事業費 | 73,770,844 |

外生変数③：一般政府支出及び家計外消費支出

|        | 単位：円       |
|--------|------------|
| 八王子事業費 | 17,929,145 |

次に、中位推計については、経済効果が1億9,469万円と推計され、17大会と比較して3.19倍程度の経済効果が推計されている。

単位：円

|          | 経済効果        |             |
|----------|-------------|-------------|
| 直接効果     | 133,704,780 | 181,490,716 |
| 間接効果(1次) | 47,785,936  |             |
| 間接効果(2次) | 13,200,635  | 13,200,635  |
| 経済効果計    | 194,691,351 |             |

想定金額（主にアンケート）

外生変数①：民間消費支出

| 1人1日当たり金額（円） |         |
|--------------|---------|
| 交通費          | 297.2   |
| 宿泊           | 358.6   |
| 外食           | 1,102.9 |
| 弁当           | 191.8   |
| その他          | 139.5   |

| 総額  |            |
|-----|------------|
| 交通費 | 3,726,117  |
| 宿泊  | 8,216,247  |
| 外食  | 13,826,616 |
| 弁当  | 2,403,990  |
| その他 | 1,262,353  |
| 合計  | 29,435,323 |

外生変数②：家計外消費支出

|       | 単位：円       |
|-------|------------|
| IF事業費 | 63,088,774 |

外生変数③：一般政府支出及び家計外消費支出

|        | 単位：円       |
|--------|------------|
| 八王子事業費 | 17,929,145 |

## 推計に用いたデータ

### 外生変数③八王子事業費

八王子市から提供を受けた IFSC クライミング世界選手権八王子市決算見込みを使用した。この資料に施設使用料が含まれているが、これは前回推計時には、IFSC 事業費として計上されていたものであるため、今回も家計外消費支出として取り扱った。残りの部分については、一般政府支出として処理した。この点については、高位・中位共に同じ数値で推計をおこなっている。

### 外生変数②

IFSC 事業費については、前回大会の資料を基に想定金額を検討した。大会の開催には、開催日当日だけでなく、事前の準備も必要であろうと考え、17 大会の資料から 1 日あたりの支出金額を算定した。17 大会の開催日は 2 日間であるが、施設やレンタル用品については、少なくとも前日から用意してあることを考え、警備や弁当・ケータリングなど、開催日のみに発生すると想定される支出を除き、1 日あたりの支出金額は、支出金額÷3 日間で算出した。

同様の考え方から、今回の世界選手権大会では、1 日の準備日と開催日 10 日間及び中 1 日の合計 12 日間と考え、推計をおこなう方針とした。ただし、準備開催期間が、4 倍となっているからと言って、IFSC の支出金額が 4 倍となるわけではない。適当な想定をおこなうために、ここでは仮にエスフォルタアリーナ八王子の施設利用料の金額比率を用いて、1 日あたりの支出金額を算出した。前回大会での支出は、約 241 万円であるのに対し、今回は約 804 万円である。このことから、1 日当たりの金額は、17 大会で約 80 万円、今回大会で約 67 万円であるため、この比率を取ると 0.83 程度となる。このことから、長期開催では 1 日あたりの開催関連の金額が 20%程度低く抑えられることを想定した。これが高位推計の想定値である。

一方、中位推計では、およそ半減できると考え、1 日あたりの金額に 0.5 を乗じて 12 日分の想定支出金額を算出した。

なお、17 大会では、ここに選手・スタッフ等の交通費宿泊費等、また、T シャツ、パンフなどの製作費の情報も含まれていたが、今回については、これらは別資料において推計が可能であったため、それらは捨象している。

## 外生変数①民間消費支出

この結果は、主に八王子市が開催期間に実施したアンケートの調査結果を集計して基礎的な資料とした。これらの集計値は、観戦客の一人当たりの食費等支出金額、宿泊費等支出金額、その他の支出金額を推計するのに用いている。

交通費については、八王子市内においてかかった往復費用として、JR:360 円、京王線:320 円、路線バス:380 円、タクシー利用: 4000 円、自家用車:140 円(ガソリン単価として)バイク:70 円(ガソリン単価として)を想定している。交通費は、ここで計算された一人当たりの費用をのべ観戦客数に乘じることで算出している。

飲食費についても同様に、一人あたり支出額を求め、観戦客数に乘じることで算出するが、今回大会の調査では、この支出に対する有効と思われる回答数が少なかった。17 大会では、85%の解答があったのに対し、今回の大会では、記入が全くないものが69%であった。この集計値を用いて、アンケート票回収数ベースで一人当たりの支出を計算すると、一人当たりの支出が過小評価となる。一方、この項目に解答したものをベースに一人当たりの支出を計算すると、実際に何も支出の予定が無いだけの回答者の分を除くこととなるため、過大評価となる。よって、今回の集計では、高位推計値の想定金額として、後者の解答があるものの数のみを分母とした算出値を利用することとした。中位推計値では、17 大会と程度の記入があったものとして、という想定で単純集計での一人あたり支出金額を 1.22(約倍した値を想定金額として利用することとした。

宿泊費用についても同様であるが、これについては、今回八王子市からの提供資料により、選手等の宿泊金額についての情報が得られたため、アンケート調査の結果にこれらの結果を加えたものを想定金額として使用している。

その他の項目については、グッズの購入や駐車場料金、朝食、昼食、夕食以外の飲食費が含まれることが多かったが、グッズ等の物販については、八王子市役所からの提供資料によって類推が可能であったため、アンケートの結果からこれらの項目は省いた。また、駐車場料金については、アンケートで移動手段として自家用車を選択しているにもかかわらず、回答がないものも多かったことから、自家用車を利用したという回答者については、一律駐車場料金を支払うという補正をおこなった。

推計に関する基本的な考え方は以上の通りである。

《参考:アンケート用紙(日本語、英語で作成)》

I F S Cクライミング世界選手権大会八王子 2019 来場者アンケート調査票

問1 何人で来ましたか。

( ) 人 【内訳: 大人 ( ) 人、子ども ( ) 人、乳幼児 ( ) 人】

問2 誰と来ましたか。

①一人 ②家族 ③友人・知人 ④その他 ( )

問3 参加・観戦日程をお答えください。空欄にチェックしてください。

| 8月  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| 11日 | 12日 | 13日 | 14日 | 15日 | 16日 | 17日 | 18日 | 19日 | 20日 | 21日 |   |
| 日   | 月   | 火   | 水   | 木   | 金   | 土   | 日   | 月   | 火   | 水   |   |
|     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 日 |

問4 ご自宅の最寄駅はどちらですか? (海外の場合は□にレ点をして問5へ)

海外

都・道・府・県【( ) 線】 駅 □

問5 本日はどこから来ましたか?

①自宅 ②宿泊施設(最寄駅: 駅) ③その他 ( )

問6 八王子市内での(市境を越えてから)会場までの移動手段をお答えください。(複数回答可)

①電車(JR) ②電車(京王線) ③路線バス ④貸切バス ⑤タクシー

⑥自家用車 ⑦バイク ⑧徒歩・自転車 ⑨その他 ( )

問7 鉄道を利用した場合、本日、利用した到着駅はどちらですか?

①狭間 ②高尾 ③その他 ( ) 駅

問8 宿泊する場合は、泊数と費用をお答えください。【 人分】

①八王子市内(泊数: 泊、費用: 円)

②八王子市外(泊数: 泊、費用: 円)

問9 自宅外での飲食で使った(使う予定の)金額をお答えください。【 人分】【 日分】

主に弁当・外食

朝食: ①八王子市内(金額: 円) ②八王子市外(金額: 円) □・□

昼食: ①八王子市内(金額: 円) ②八王子市外(金額: 円) □・□

夕食: ①八王子市内(金額: 円) ②八王子市外(金額: 円) □・□

問10 その他、八王子市内で使った(使う予定の)支出があればお答えください。【 人分】【 日分】

(品目(商品名)) (金額: 円)

(品目(商品名)) (金額: 円)

(品目(商品名)) (金額: 円)

問11 クライミングを日常やっていますか。

①はい ②いいえ

ご協力ありがとうございました。

# 事業費内訳表

| (単位 円)                 |                               |                                                                                                              |                                                       |                   |
|------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------|
| 区 分                    | 項 目                           | 内 容                                                                                                          | 事業費                                                   | (参考)<br>BWC2018大会 |
| 観光コンベンション協会への開催支援委託料   | 周知・啓発                         | ポスター作成                                                                                                       | A1～A4 2,450枚                                          | 1,311,780         |
|                        |                               | 横断幕・のぼり・掲出                                                                                                   | ・横断幕(八王子駅北口・南口、本庁舎、イーアス高尾)<br>・のぼり35枚(エスフォルタ)         |                   |
|                        |                               | フラッグ掲出                                                                                                       | 中心市街地 9商店街、八王子駅南口など<br>300枚(7/30～8/22)                |                   |
|                        |                               | 懸垂幕                                                                                                          | セレオ(1枚) ※掲出費用は免除                                      | 267,840           |
|                        |                               | 大会イラストの制作                                                                                                    | 東京造形大学 宮崎勇次郎助教<br>※「八王子」、「クライミング」、「日本らしさ」             | 216,000           |
|                        |                               | 小計                                                                                                           | 1,795,620                                             | 530,604           |
|                        | おもてなし                         | 選手・関係者への記念品                                                                                                  | 風呂敷 500枚 ※BWC2018はTシャツ                                | 1,026,000         |
|                        |                               | 副 賞                                                                                                          | 1位～3位×4種目×男女 ネクタイ・ストール                                | 104,490           |
|                        |                               | オープニングセレモニー                                                                                                  | 芸妓衆踊り披露(京王プラザホテル)<br>※BWC2018はレセプションパーティ              | 120,000           |
|                        |                               | 体験ウォール設置                                                                                                     | 来場者体験コーナー ※主催者が実施                                     | 0                 |
|                        |                               | 小計                                                                                                           | 1,250,490                                             | 2,368,334         |
|                        | 新たなおもてなし                      | 日本文化体験                                                                                                       | 浴衣の体験コーナー 3日間実施<br>(山野美容芸術短期大学) ※消耗品、謝金等              | 280,674           |
|                        |                               | 記念撮影用パネルの制作                                                                                                  | 大型の大会イラストパネルを会場内に設置                                   | 251,640           |
|                        |                               | 八王子の特色を活かした食の提供                                                                                              | 出店やキッチンカーによる食の提供等                                     | 0                 |
|                        |                               | 中心市街地でのイベント開催 など                                                                                             | バルベリー八王子(ナツバル)の実施 8/10～8/21 56店舗<br>※チケット購入、英語版冊子作成費等 | 1,300,000         |
|                        |                               | 来場者記念グッズの制作                                                                                                  | 大会イラストを用いた扇子 10,000本                                  | 1,973,160         |
|                        |                               | 小計                                                                                                           | 3,805,474                                             | —                 |
|                        | 事務費                           | 各種手配事務費                                                                                                      | 事業費×10%                                               | 685,000           |
|                        | 消費税                           | 8%                                                                                                           |                                                       | 602,926           |
|                        | 開催支援委託料 計(A) ※BWC2018は、市が直接実施 |                                                                                                              | 8,139,510                                             | 2,898,938         |
| 新たなおもてなし・周知等<br>(市対応分) | 市内ボルダリングジムでの優待利用サービスの実施       | ・Dボルダリング、クライミングジムパーチ<br>・登録料無料、選手向け早朝開店及び無料サービス                                                              | 0                                                     | —                 |
|                        | チケット半券提示による優待割引               | イーアス高尾                                                                                                       | 0                                                     | —                 |
|                        | 観光ツアー                         | 高尾山、広園寺座禅体験 など                                                                                               | 0                                                     | —                 |
|                        | 選手等記念品増分                      | 風呂敷 追加分                                                                                                      | 244,944                                               | —                 |
|                        | 冊子作成                          | 選手等配付用、英語版                                                                                                   | 114,696                                               | —                 |
|                        | ポスター掲出                        | 狭間駅ドレッシング                                                                                                    | 550,044                                               | —                 |
|                        | 振袖クリーニング                      | 表彰式アテンド着用振袖                                                                                                  | 56,440                                                | —                 |
| 周知・おもてなし(市実施分) 計(B)    |                               |                                                                                                              | 966,124                                               | —                 |
| 大会運営                   | 通訳配置                          | NPO八王子国際協会への委託                                                                                               | 598,665                                               | 319,950           |
|                        | 開会式でのフラッグセレモニー                | 参加39か国のフラッグ掲揚、市内中学生が旗手                                                                                       | 20,000                                                | —                 |
|                        | 表彰式でのアテンド                     | 市内大学生(学生委員会・山野)が和装によりアテンド                                                                                    | 0                                                     | —                 |
|                        | 職員応援従事                        | 交通費                                                                                                          | 12,498                                                | 29,749            |
|                        | 事務経費等                         | 事務費、実行委員会会場借上料                                                                                               | 167,038                                               | 219,151           |
| 大会運営 計(C)              |                               |                                                                                                              | 798,201                                               | 568,850           |
| 大会レガシー(D)              | 小型モニュメント製作費                   | 実際に使用されたホールの調達<br>モニュメントの設計、製作                                                                               | 499,400                                               | —                 |
| 会場費(E)                 | 施設利用料<br>・8月5日～24日(20日間)      | 【11日間(8月11日～21日)】⇒準備・撤去期間は主催者負担<br>大会期間施設使用料:7,021,160円<br>屋外・屋外ブース使用料:1,008,000円<br>※全体(準備期間等含む)10,921,380円 | 8,029,160                                             | —                 |
| 合 計(A+B+C+D+E)         |                               |                                                                                                              | 18,432,395                                            | 3,467,788         |

# 主催者報告書

20190910

クライミング世界選手権

大会実行委員長 村岡正己

世界選手権、今からおよそ2年前に日本開催の話が持ち上がり検討が始まった。当初、中国開催の予定であったが、オリンピックを控え2018年のIFSC総会で日本開催が決まる。今から日本での開催が可能なのか、時期、会場、施設、スタッフ、予算など多くの課題がのしかかるが“何とかなる”という想いでスタートする。

会場選定は、代々木、埼玉アリーナ、調布の森・・・と接触をするが、すでに行事が入っておりさらに準備を含めた開催期間が約4週間必要なため受け入れて頂けるところはなかった。最後は、会場のスケールから開催は厳しいと考えていたエスフォルタアリーナにアプローチ。八王子市のバックアップを頂き会場確保にこぎつけた。

時期に関しては、ワールドカップ終了後の10月下旬から11月を考えていたが、IFとの検討でオリンピックのテストイベントを兼ねる（コンバインドのみ）などいろいろな事情がからみ8月11日-21日の開催となる。但し、準備を含め21日間が会場を借りられる期間となりかなりの短縮。会場準備、ルートセット、撤収に負荷をかけることになる。（最終的にはテストイベントは2020年3月になったが）そのような状況下、2019年3月開催のIFSC総会で

（東京）はパラの同時開催は難しいとの判断により別開催が決まり関係者に混乱と支障をきたすことになる。改めてこの場を借りてお詫び申し上げます。

一方、大会の安全面で競技壁下の床補強を行う予定であるがオリンピックを控えての繁忙期、業者選定は7月上旬までずれ込む。予算を含め大会直前まで多くの課題を抱えながら8月11日を迎えた。

## 1. 概要

①.大会名：IFSC CLIMBING WORLD CHAMPIONSHIP HACHIOJI 2019

(IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子)

②.会場：エスフォルタアリーナ八王子

③.期間：2019年8月11日-21日

④.スケジュール/種目：

|       |            |               |
|-------|------------|---------------|
| 8月11日 | Bouldering | 予選（女子）        |
| 8月12日 | Bouldering | 予選（男子）        |
| 8月13日 | Bouldering | 準決勝・決勝（女子/男子） |
| 8月14日 | Lead       | 予選（女子・男子）     |
| 8月15日 | Lead       | 準決勝・決勝（女子/男子） |
| 8月16日 | 休日         |               |
| 8月17日 | Speed      | 予選・決勝（女子/男子）  |
| 8月18日 | Combined   | 予選（女子）        |
| 8月19日 | Combined   | 予選（男子）        |
| 8月20日 | Combined   | 決勝（女子）        |



8月21日 Combined 決勝（男子）

⑤.参加国と地域：39

（アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、チリ、中国、チェコ、エクアドル、スペイン、フランス、イギリス、ドイツ、香港、インド、イラン、イスラエル、イタリア、カザフスタン、韓国、メキシコ、オランダ、ノルウェー、ニュージーランド、パキスタン、ポーランド、南アフリカ共和国、ロシア、スロベニア、スイス、スウェーデン、スロバキア、タイ、台湾、ウクライナ、アメリカ、ウズベキスタン、日本）

⑥.参加選手 606人（種目重複含む）

|             |        |         |
|-------------|--------|---------|
| ・Bouldering | 女子 89人 | 男子 104人 |
| ・Lead       | 女子 92人 | 男子 99人  |
| ・Speed      | 女子 83人 | 男子 99人  |
| ・Combined   | 女子 20人 | 男子 20人  |
|             | 284人   | 322人    |

## 2. Bouldering

ボルダリング予選は、サブアリーナで実施。11日は女子予選。予選はチケットの売れ行きが思わしくなかったが、開場前にお客が40人ほど並ばれており、いよいよ始まるという気持ちでいっぱいになる。Janja GARNBRET、野口啓代が5課題完登の1位通過。日本人は6人中4人が予選通過。男子の予選は翌日12日。緒方良行とAdam ONDRAが1位通過。そして、日本人男子7人全員が予選を通過し順調な滑り出し。準決勝、決勝は13日メイン会場に移る。予選と違って、準決勝の課題は、男女ともに厳しく女子はゼロ完が続出。男子は予選1位の緒方が敗退する。

### WOMEN Bouldering

| Rank | NAME                | Nation | Final   | Semi Final | 1 Qualification | 2 Qualification |
|------|---------------------|--------|---------|------------|-----------------|-----------------|
| 1    | Janja GARNBRET      | SLO    | 3T3z 88 | 3T4z 76    | 5T5z 55         |                 |
| 2    | Akiyo NOGUCHI       | JPN    | 2T2z 42 | 2T4z 38    |                 | 5T5z 99         |
| 3    | Shauna COXSEY       | GBR    | 2T2z 66 | 0T3z 06    | 3T5z 69         |                 |
| 4    | Levgeniia KAZBEKOVA | UKR    | 1T2z 34 | 1T2z 23    | 4T5z 1414       |                 |
| 5    | Miho NONAKA         | JPN    | 1T2z 56 | 0T3z 05    |                 | 3T4z 48         |
| 6    | Nanako KURA         | JPN    | 0T1z 01 | 1T2z 15    | 5T5z 1210       |                 |

決勝では、女子はJanja GARNBRETが3完登で優勝。迷



いのないムーブというか、起こしたムーブは無理な体勢になっても登り切ってしまう完璧な強さに敵なし。そして

野口、Shauna COXSEYが2完登で2位、3位と続く。第4課題が進む中、他選手の完登が始めると野口は4位まで落ちる。そして野口の番。落ち着いた感じで課題の前に立ち、なんなく1撃で完登する。アテンプトの差で2位となる。野口のパフォーマンスには静と動があり見ているものを感動させる何かがある

| MEN Bouldering |                |        |           |            |                 |                 |
|----------------|----------------|--------|-----------|------------|-----------------|-----------------|
| Rank           | NAME           | Nation | Final     | Semi Final | 1 Qualification | 2 Qualification |
| 1              | Tomoa NARASAKI | JPN    | 2T4z 1220 | 2T4z 24    | 4T4z 85         |                 |
| 2              | Jakob SCHUBERT | AUT    | 0T3z 010  | 1T4z 312   | 3T4z 56         |                 |
| 3              | Yannick FLOHÉ  | GER    | 0T3z 013  | 2T4z 1316  | 3T5z 514        |                 |
| 4              | Kokoro FUJII   | JPN    | 0T3z 018  | 2T4z 56    |                 | 4T4z 55         |
| 5              | Keita DOHI     | JPN    | 0T2z 09   | 2T4z 510   |                 | 3T5z 68         |
| 6              | Adam ONDRA     | CZE    | 0T0z 00   | 3T4z 117   | 5T5z 66         |                 |



男子決勝は、かなり厳しい課題で予選、準決勝と1位で通過してきたAdam ONDRAをはじめゼロ完登が続出。そのような状況下、唯一檜崎が2完登で優勝をもぎ取る。

### 3. Lead

14日予選、15日に準決勝、決勝を行う。女子は、Janja



GARNBRETがボルダリングに続いて優勝。もともとLeadが得意だけあって決勝でも完登ではないが、他を寄せ付けない登りであった。

日本人では森秋彩が3位、野口啓代が5位に入る。残念なのは、森が中盤のトラバースでムーブをミスし、やり直したことが持久面に影響したのでは？これがなければJanjaに迫れたのではと思えるほど

森の登りは素晴らしかった。男子では、ボルダリングでもう一步だったAdam ONDRAが復調し優勝。日本人では檜崎が4位、原田が7位となる。

| WOMEN Lead |                  |        |       |            |                 |                 |
|------------|------------------|--------|-------|------------|-----------------|-----------------|
| Rank       | NAME             | Nation | Final | Semi Final | 1 Qualification | 2 Qualification |
| 1          | Janja GARNBRET   | SLO    | 43+   | 38+        | Top             | Top             |
| 2          | Mia KRAMPL       | SLO    | 39+   | 34         | 35+             | 32              |
| 3          | Ai MORI          | JPN    | 38+   | 34+        | 39+             | Top             |
| 4          | Chaehyun SEO     | KOR    | 38+   | 32         | 34              | 38              |
| 5          | Akiyo NOGUCHI    | JPN    | 38+   | 32         | 34              | 33              |
| 6          | Jessica PILZ     | AUT    | 35+   | 30+        | 37              | 31              |
| 7          | Vita LUKAN       | SLO    | 30+   | 35         | 28              | 31              |
| 8          | Julia CHANOURDIE | FRA    | 30+   | 30+        | 31              | 31              |

| MEN Lead |                  |        |       |            |                 |                 |
|----------|------------------|--------|-------|------------|-----------------|-----------------|
| Rank     | NAME             | Nation | Final | Semi Final | 1 Qualification | 2 Qualification |
| 1        | Adam ONDRA       | CZE    | 34+   | 37+        | Top             | 31              |
| 2        | Alexander MEGOS  | GER    | 33+   | 40+        | Top             | 32              |
| 3        | Jakob SCHUBERT   | AUT    | 33+   | 30+        | Top             | Top             |
| 4        | Tomoa NARASAKI   | JPN    | 30    | 38         | Top             | Top             |
| 5        | Sean MCCOLL      | CAN    | 30    | 37+        | 31+             | Top             |
| 6        | Stefano GHISOLFI | ITA    | 29+   | 29+        | 28+             | Top             |
| 7        | Kai HARADA       | JPN    | 28+   | 31+        | 32+             | Top             |
| 8        | Hannes PUMAN     | SWE    | 27+   | 29+        | 29+             | 32+             |

### 4. Speed

8月16日は休息日、17日にスピード競技を開催。予選通過には、女子で8秒前半、男子は6秒前半が必須。

ただ、檜崎、藤井など6秒台を出したが予選通過にならなかった。予選から5秒代の時代に入ってきたと感じる。残念なのは、日本トップの野中生萌が肩の故障で9秒台に終わったこと。さて、決勝はトーナメント(16名)で争われる。1/8ファイナルで8名に、1/4ファイナルで4名、1/2ファイナルで2名、ビッグファイナルで優勝者が決まる。

| WOMEN Speed |                     |        |          |             |          |          |          |               |
|-------------|---------------------|--------|----------|-------------|----------|----------|----------|---------------|
| Rank        | NAME                | Nation | BigFinal | Small final | 1/2Final | 1/4Final | 1.8Final | Qualification |
| 1           | Aleksandra MIROSLAW | POL    | 7.129    |             | 7.337    | 7.337    | 7.472    | 7.377         |
| 2           | Di NIU              | CHN    | 8.363    |             | 7.525    | 7.814    | 7.871    | 8.026         |
| 3           | Anouck JAUBERT      | FRA    |          | 7.534       | 7.535    | 7.663    | 8.409    | 7.454         |
| 4           | YiLing SONG         | CHN    |          | 9.768       | fall     | 7.192    | 7.436    | 7.698         |
| 5           | Aleksandra KALUCKA  | POL    |          |             |          | 7.605    | 7.789    | 8.227         |
| 6           | Mariia KRASAVINA    | RUS    |          |             |          | 7.998    | 7.454    | 7.414         |
| 7           | Patrycja CHUDZIAK   | POL    |          |             |          | 8.008    | 8.114    | 7.946         |
| 8           | Elizaveta IVANOVA   | RUS    |          |             |          | 10.19    | 7.747    | 7.806         |

| MEN Speed |                           |        |          |             |             |             |             |               |
|-----------|---------------------------|--------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| Rank      | NAME                      | Nation | BigFinal | Small final | 1/2 - Final | 1/4 - Final | 1.8 - Final | Qualification |
| 1         | Ludovico FOSSALI          | ITA    | 6.871    |             | Wildcard    | Wildcard    | 5.908       | 5.97          |
| 2         | Jan KRIZ                  | CZE    | fall     |             | 5.986       | 6.219       | 6.136       | 6.03          |
| 3         | Stanislav KOKORIN         | RUS    |          | 5.835       | fall        | 5.808       | 5.944       | 6.088         |
| 4         | Danyil BOLDYREV           | UKR    |          | 5.934       | false start | 7.5         | 5.94        | 5.889         |
| 5         | Kostiantyn PAVLENKO       | UKR    |          |             |             | 5.863       | 6.232       | 5.966         |
| 6         | Reza ALIPOURSHENAZANDIFAR | IRI    |          |             |             | 7.248       | 6.281       | 5.757         |
| 7         | Rishat KHAIBULLIN         | KAZ    |          |             |             | 7.613       | 7.013       | 6.051         |
| 8         | QiXin ZHONG               | CHN    |          |             |             | false start | 5.58        | 6.086         |



決勝では、男女ともに波乱が起きた。女子では、世界記録(7.10)保持者の宋懿齡(Yiling Song)がセミファイナルでスリップし9

秒台で4位に終わる。予選から7秒前半を安定してマークしているAleksandra MIROSLAWが決勝で7.129をマークし優勝。そして、男子でも世界記録保持者(5.48)のReza ALIPOURSHENAZANDIFARがスリップし敗退する。優勝は、Ludovico FOSSALI。なんと、対戦相手が失敗しての勝ち抜きが2回。さらに決勝では相手がFall、優勝を棚ぼた式に勝ち取った。

### 5. Combine

3つの単種目が終了し、コンバインドに出場する男女各20名が確定。女子はボルダリング、リード優勝のJanja GARNBRETが1位通過。日本人では野口啓代(2位)、伊藤ふたば(4位)、野中生萌(5位)、森秋彩(12位)、位倉菜々子(15位)が出場を獲得。残念ながら小武芽生は(35位)通過できなかった。

男子は、ボルダリング優勝、リード4位の檜崎智亜が1位通過。藤井快(4位)、原田海(5位)、土肥圭太(9位)、檜崎明智(11位)と全員が通過。

今回のコンバインドは、昨年INNSBRUCKで開催した世界選手権のコンバインドとは違って、オリンピックフォーマットで行った。18日女子予選、19日男子予選、20日女子決勝、21日男子決勝となる。

## 【コンバインド予選】

まず、女子予選のスピードでは、伊藤ふたばが4位、野中生萌は肩の調子が悪そうだがなんとか8秒台で5位、野口啓代は10位、倉菜々子13位、森秋彩18位となる。

2種目のボルダリングでは、Shauna COXSEYが4課題一撃完登の1位。Janja GARNBRET、野口、伊藤も4完登するがアテンプト数で2位、3位、4位となる。

3種目目はリード。森が完登でリード1位となる。この後の各選手の成績にもよるがこれで最終的に決勝進出への切符をつかむ。Janjaは、35+で落ち8位に終わる。Janjaがダントツで予選を通過すると思っていたが、ちょっとした波乱?となる。

|   |                     | S  | B  | L  | point |
|---|---------------------|----|----|----|-------|
| 1 | Shauna COXSEY       | 14 | 1  | 3  | 42    |
| 2 | Akiyo NOGUCHI       | 10 | 4  | 2  | 80    |
| 3 | Janja GARNBRET      | 7  | 2  | 8  | 112   |
| 4 | Petra KLINGLER      | 8  | 3  | 12 | 288   |
| 5 | Ai MORI             | 18 | 16 | 1  | 288   |
| 6 | Futaba ITO          | 4  | 5  | 15 | 300   |
| 7 | Aleksandra MIROSLAW | 1  | 19 | 20 | 390   |
| 8 | Miho NONAKA         | 5  | 6  | 14 | 420   |

一方男子は、1種目目のスピードでは、スピード職人たちが確実に5秒台を出し

Rishat KHAIBULLINKAZが5.8秒台で1位。日本人では榊崎智垂4位、藤井快5位、原田海が6位、榊崎明智が8位と続く。

2種目目はボルダリング。Alexander MEGOSが4完登で1位。榊崎兄弟、原田海、Adam ONDRA、Jakob SCHUBERTが3完登で続く。

3種目目はリード。ここでもAlexanderが完登はならなかったが一番高度を延ばし37+を獲得。Adamがボルトを

|   |                  | S  | B  | L  | point |
|---|------------------|----|----|----|-------|
| 1 | Alexander MEGOS  | 17 | 1  | 1  | 17    |
| 2 | Jakob SCHUBERT   | 15 | 2  | 2  | 60    |
| 3 | Tomoa NARASAKI   | 4  | 4  | 8  | 128   |
| 4 | Kokoro FUJII     | 5  | 7  | 6  | 210   |
| 5 | Kai HARADA       | 6  | 3  | 14 | 252   |
| 6 | Rishat KHAIBULLI | 1  | 17 | 17 | 289   |
| 7 | Meichi NARASAKI  | 8  | 5  | 9  | 360   |
| 8 | Mickael MAWEM    | 3  | 8  | 18 | 432   |

踏んだことにより19位。決勝進出を逃す大波乱が起きる。日本人も上部で苦戦するが、トータルでは榊崎(智)、藤井、原田、榊崎(明)の4人が決勝進出を決める。

## 【コンバインド決勝】

### ・コンバインド女子決勝 Speed

スピード競技は、ちょっとしたミスが影響するが、決勝でも多くの選手がスリッパし10秒を超える選手が続出した。そのような状況下、単種目スピード優勝のAleksandra MIROSLAWFがビックファイナルへ進出。そして、もう一人の選手はなんとShauna COXSEY



だった。相手のミスによって勝ち上がってきた。もちろんビックファイナルの結果は、スピード系のAleksandraが勝って1位となる。

### ・コンバインド女子決勝 Bouldering

2種目目は、ボルダリング。



第2課題

第3課題

第1課題



1課題は、左にトラバースし、トップ下の三角錐のボリュームでワイドクラック気味に設定された核心を突破する課題。森秋彩、野口啓代、Shauna COXSEYが完登。

2課題目は、中央部が大きく被った壁に設置されたパワー系の課題。

野口、Janja、野中が完登。3課題は、トラバースで非常に下部はバランスが必要な課題。かなりトリッキーなのかZONEにも届かない課題であった。結果2完の野口が1位で通過。野口の言葉“集大成”へ進んでいるのを感じた。

### ・コンバインド女子決勝 Lead



3種目目はリード、ここで、徐々に調子を上げている森が予選に続き見事な登りで完登。下部では両手を広げてやっと届くようなところもあったが、迷いなく登って行く姿はJanjaと同じだ。

\* 2人の比較映像参照

<https://youtu.be/8YiZRIturSs>

または写真 QR コード

最終ホールドをダブルダイノで取った瞬間、会場の歓声は今までで最高だった。もちろん、Janja

GARNBRET

も完登。野口も、着実に登っていくが体

力的に限界だったのか、最終ホールド取れる体勢にあるように見えたが、タッチに終わった。

結果コンバインドは、ボルダリング、リードで巻き返しを図った2人、Janja GARNBRETが優勝、野口啓代が2位となった。そして、まだ完全な復活とは言えないが、予選トップのShauna COXSEYが3位となった。



そして野口は、オリンピック日本代表の内定を獲得した。

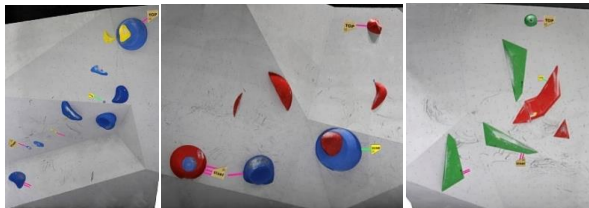
#### ・コンバインド男子決勝 Speed

男子スピードでは、単種目スピードで7位の Rishat KHAIBULLIN が1位。スピード系の選手がコンバインド決勝に残るようになってきた。彼らもトレーニング方法を変えてきていると感じる。日本人は、櫛崎智亜が準決勝で Mickael MAWEM に勝ちファイナルに進むが、フォールし2位となる。櫛崎としては、幸先の良いスタートとなる。



#### ・コンバインド男子決勝 Bouldering

ボルダリング、1課題目を櫛崎智亜が1撃完登。予選で Adam ONDRA が落ち、決勝では Jakob SCHUBERT の調子が上がらない中、櫛崎が2課題目、3課題目も落とし全課題完登する。



第2課題

第3課題

第1課題

第2課題は、最終ホールドをダブルダイノで取りに行く。かなり厳しいホールドからのダイノでさらに左手と右手のホールドの位置が狭く体を保持するのが難しいルート。これも櫛崎が決める。櫛崎は第3課題も完登し一人3完登でボルダリングを1位通過する。

#### コンバインド男子決勝 Lead



リードは、Jakob が最初にスタート。淀みなく登る姿は、先ほどのボルダラーでゼロ完だった選手と同じとは思えないほどの動き。そして完登。その後の各選手は、かなり手前（十数手）でホールシ、



予選1位の Alexander MEGOS

は、ボルダラーで手を痛め途中危険、リードも不出場。リードは Jakob の独壇場となった。

櫛崎は、最終ホールドからかなり手前の30手がで落ちるが2位となる。結果コンバインド総合でポイント4とい

う絶対的な強さで優勝を勝ち取った。そして、オリンピックの出場内定を獲得。

| MEN  |                   | Commbind |         |            |       |               |       |             |       |  |  |
|------|-------------------|----------|---------|------------|-------|---------------|-------|-------------|-------|--|--|
| Rank | NAME              | Nation   | F-Point | Final lead | Point | Final boulder | Point | Final speed | Point |  |  |
| 1    | Tomoa NARASAKI    | JPN      | 4       | 30         | 2     | 3T3z 43       | 1     | fall        | 2     |  |  |
| 2    | Jakob SCHUBERT    | AUT      | 35      | Top        | 1     | 0T1z 06       | 5     | 7.208       | 7     |  |  |
| 3    | Rishat KHAIBULLIN | KAZ      | 40      | 22         | 5     | 0T1z 02       | 8     | 5.915       | 1     |  |  |
| 4    | Kai HARADA        | JPN      | 54      | 30         | 3     | 0T2z 06       | 6     | 6.348       | 3     |  |  |
| 5    | Meichi NARASAKI   | JPN      | 60      | 21         | 6     | 1T3z 14       | 2     | 6.689       | 5     |  |  |
| 6    | Kokoro FUJII      | JPN      | 72      | 29         | 4     | 1T3z 26       | 3     | 9.438       | 6     |  |  |
| 7    | Mickael MAWEM     | FRA      | 112     | 20         | 7     | 1T2z 34       | 4     | 6.716       | 4     |  |  |
| 8    | Alexander MEGOS   | GER      | 448     |            | 8     | 0T1z 01       | 7     | 7.570       | 8     |  |  |



#### 6. 運営

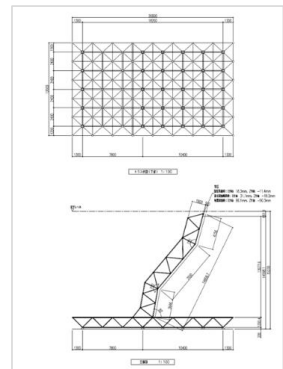
##### 競技壁；

会場の準備（設営）期間が短いため、トラスによる応力を使った設置方式をとる。床荷重、地震係数を1.0で算出安全確保を実施。

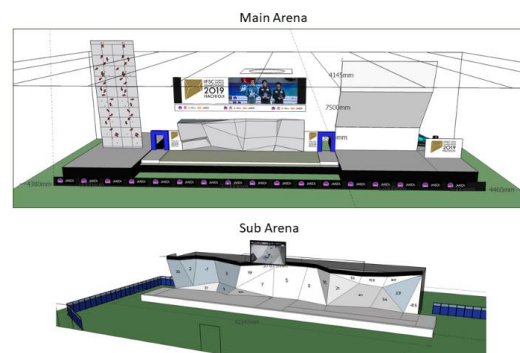
➤スピード、リード合わせてトラス2日、壁2日半で組み上げる。

➤床荷重 リード壁の場合  
Z方向 平均 430kg/m<sup>2</sup>  
(総重量 32ト)  
地震時最大 2ト/m<sup>2</sup>  
(地震係数 1.0)

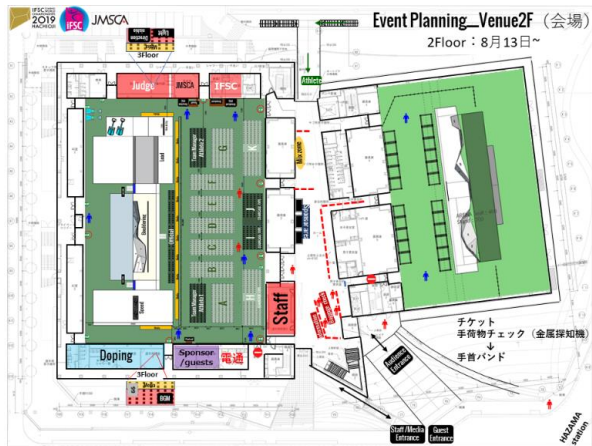
床補強（支持脚）→



##### 競技壁イメージ



レイアウト；



- ・メインアリーナ 60m×45m(FOP45%、観戦55%)
- ・席数

2階 1574 (販売 1096) + 3階 1045 (販売 805)  
=2619 席 (販売 2001 席)

2階 指定席 (競技によって一部自由席)  
選手 200、チームオフィシャル 80  
運営 50 (審判、放送、音響、他)  
観戦 1096 (一般)、72 (VIP)、72 (JMSA)

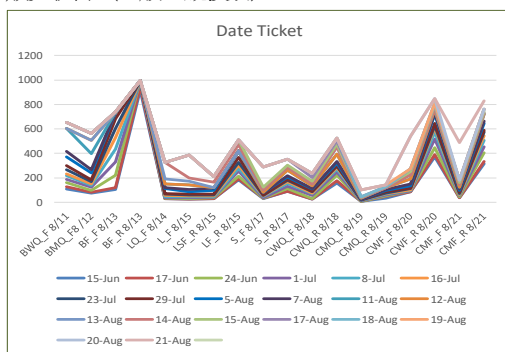
3階 自由席  
運営 240 (中継、運営) 観戦 805  
参考 2階席配置 (東京都条例防火予防 48 条)  
➢使用非常口 7カ所  
➢非常口 1カ所通過人数  $1574 \div 7 = 225$  人  
➢通路幅  $225 \times 0.6 = 135\text{cm}$  (実際 150 設置)

チケットティング；

- ・販売統計 (一般 日計) 8735 枚



- ・販売統計 (一般 競技別)



観戦者ヒアリング；

- ・来場エリア (開場前ヒアリング 52 人)
- 関東 75% 中部 10% 関西 10% 東北 3% 海外 2%
- ・リピーター (会場、表彰式前 34 人)
- 1回 21 人、2回 6 人、3回 2 人、4回 5 人、5回 ~0 人

マーケティング；

観戦；(延べ観戦数、各開催日確認データより)

|       | 選手男子 | 選手女子 | Official | 選手合計 | 観客    | 来賓  | 視察  | メディア | 観戦合計   | 観戦合計   |
|-------|------|------|----------|------|-------|-----|-----|------|--------|--------|
| 8月11日 | 40   | 89   | 129      | 258  | 649   | 20  | 6   | 89   | 764    | 1,022  |
| 8月12日 | 104  | 40   | 129      | 273  | 578   | 20  | 10  | 85   | 673    | 946    |
| 8月13日 | 20   | 20   | 169      | 209  | 1,717 | 50  | 10  | 108  | 1,885  | 2,094  |
| 8月14日 | 99   | 92   | 129      | 320  | 333   | 10  | 5   | 56   | 404    | 724    |
| 8月15日 | 26   | 25   | 209      | 260  | 1,095 | 15  | 10  | 74   | 1,194  | 1,454  |
| 8月16日 |      |      |          |      | 休み    |     |     |      |        |        |
| 8月17日 | 99   | 83   | 129      | 311  | 674   | 25  | 10  | 75   | 784    | 1,095  |
| 8月18日 | 20   | 19   | 70       | 109  | 885   | 25  | 10  | 84   | 1,004  | 1,113  |
| 8月19日 | 20   | 20   | 70       | 110  | 249   | 10  | 10  | 80   | 349    | 459    |
| 8月20日 | 8    | 8    | 150      | 166  | 1,456 | 85  | 15  | 118  | 1,674  | 1,840  |
| 8月21日 | 8    | 8    | 150      | 166  | 1,412 | 100 | 15  | 97   | 1,624  | 1,790  |
| 合計    | 444  | 404  | 1334     | 2182 | 9,048 | 360 | 101 | 846  | 10,365 | 12,537 |

身体障がいのお客様 1~3 人/日 来場

販売；

|       | チケット当日 | パンフレット | ポスター | Tシャツ | トートバック | ステッカー |
|-------|--------|--------|------|------|--------|-------|
| 8月11日 | 44     | 157    | 7    | 61   | 68     | 82    |
| 8月12日 | 58     | 98     | 7    | 49   | 51     | 124   |
| 8月13日 |        | 322    | 24   | 213  | 188    | 137   |
| 8月14日 | 88     | 47     | 2    | 22   | 19     | 28    |
| 8月15日 | 92     | 91     | 11   | 53   | 34     | 101   |
| 8月16日 |        |        |      |      |        |       |
| 8月17日 | 90     | 56     | 12   | 2    |        | 79    |
| 8月18日 | 55     | 103    | 4    | 44   |        | 85    |
| 8月19日 | 31     | 14     | 8    | 11   |        | 18    |
| 8月20日 | 93     | 30     | 13   | 27   |        | 50    |
| 8月21日 | 92     | 23     | 28   | 21   |        | 68    |
| 合計    | 643    | 941    | 116  | 503  | 360    | 772   |

売切 売切

MEDIA；

- ・中継 コンバインド NHKBS 1 生中継 視聴率 0.2~0.4
- ・TV119 番組、露出時間 6 時間 4 分 4 秒 (中継除く)
  - NHK サタデースポーツ、他
  - NTV ZIP、N スタ、NEWS ZERO、他
  - TBS S★1、あさチャン、NES23、他
  - CX めざまし TV、S-PARK、他
  - EX 報道ステーション、サンデーLIVE、他
- ・取材 89 社、178 人 (内 42 人 海外)

組織；オリンピックに近い組織での展開実施

E.M. President  
Event management VP  
Sport manager  
Deputy Sport Manager  
Service manager \*コメント別紙参照  
Deputy Service manager  
Media Manager  
スタッフ数 (通常の大会より 1~2 割少ない)  
兼任、視察関係の協力に対応  
11 日 91 人、12 日 85 人、13 日 99 人、14 日 81 人  
15 日 80 人、17 日 69 人、18 日 83 人、19 日 80 人  
20 日 88 人、21 日 84 人

救護；

- 8月12日 選手負傷 (右足首捻挫) 救急車搬送
- 8月13日 メキシココーチ体調不良 救急車搬送

8月19日 ドイツ選手会場で転倒、鼻負傷  
競技終了後医療スタッフ不在（救急車、搬送なし）  
その他各日、擦過傷多数あり

クレーム；

8月13日 自由席観戦者2階で観戦できると聞いた  
8月14日 22:30以降、空調の室外機騒音クレーム  
8月15日 転売サイト（vigogo）によるクレーム、  
チケット届かない

## 6. 世界選手権準備

2017年

日本開催について検討

11月6日 スパアアリーナ 会場現地確認  
11月9日 IFSCへの説明実施（組織委員会会議室にて）  
\*日本国内の体制を固めるよう依頼あり

2018年

3月 IFSC 総会にて日本開催決定  
4月 スパアアリーナ日程不可、他会場確認  
9月 Pre-agreement について調整  
11月 IFSC ORGANIZER Meeting  
スケジュール決定（コンバインド4日、オリ  
ンピックフォーマットへ）

2019年

1月 Sponsor fee 大会費用 IFSC 負担 40万ドル締結  
3月10日 デリゲイト Graeme Alderson 打合せ  
3月12日 IFSC(Graeme Alderson、Alessandro)  
東商 打合せ  
3月15日 IFSC 総会  
大会概要プレゼン パラ競技開催 変更提案  
3月25日 西尾レントール打合せ  
3月29日 グラフィックチャーター調整  
4月04日 電通、博報堂打合せ  
4月15日 日本床工事工業 打合せ（日本床工事工業）  
4月21日 デリゲイト Graeme Alderson 打合せ（広島）  
準決勝、決勝タイムスケジュール  
4月22日 東商アソシエート 打合せ ・壁設置関係  
4月23日 八王子市 打合せ ・市準備状況  
4月24日 電通、博報堂打合せ マーケティング関係  
4月26日 ホールド協力打合せ  
5月02日 Perfect Descent Skype 打合せ  
オートビレイの提供  
5月02日 Graeme Alderson 打合せ ・Infosheet 調整  
5月07日 競技壁契約書案 東商打合せ  
5月08日 八王子市、警察、医療センター打合せ  
5月09日 八王子市、消防、京王観光打合せ  
5月10日 Graeme Alderson（昭島）・Infosheet 決定  
5月14日 IFSC ホームページ Infosheet アップロード  
5月15日 壁建設置工事関係競技（東商アソシエート）  
5月23日 グラフィックチャーター見直し  
5月27日 世界選手権 OHB サイン  
5月28日 八王子実行委員会  
6月6日 作業部会1 レイアウト、スケジュール、備品

6月19日 作業部会2

・スタッフ募集状況（21日締め切り確認、2次募集検討）  
・Zone Control → オリンピック方式へ  
・ID作成 → ID発行システム（インスブルック同  
様）の採用へ  
・レイアウト見直し → スピードの位置決定、各壁位置  
の微調整、壁間3mへ  
・動線見直し → サブアリーナ入り口中央（電源、消防  
対応による）  
・選手エントリー → 29日締め切り（現在21ヶ国 補  
助金30ヶ国以上必要）  
6月20日 世界選手権競技壁定例会議（東商、OAK建  
築工房）・床補強方法 → OAK提案（床への直接支持脚  
set、位置の正確な設置必要ない）  
6月25日 実行委員会後設置テスト予定  
・太洋工業鉄骨荷重計算（高所作業車載せた荷重）確認  
・壁設置キックオフ → JMSCA、東商、ディスカバ  
リー、西尾レントール  
6月25日 実行委員会（八王子市）準備状況、課題確認  
7月4日 世界選手権競技壁定例会議（東商事務所）  
各分担、スケジュール、方法確認  
7月5日 八王子消防打合せ  
7月7日 Speed time system（ディーブロン）Skype  
システムの協力依頼、NHKとの連携を確認  
7月9日 作業部会3（実行委員会）  
7月10日 八王子高尾警察打合せ ・警備体制確認  
7月16日 西尾レントール表敬訪問 サプライヤー対応  
7月23日 作業部会4（実行委員会）  
7月26日 世界選手権競技壁定例会議（東商事務所）  
スケジュール調整  
7月31日 スタッフ説明会（フォーラム8）

## 7. その他

コンバインド 映像PV

[https://youtu.be/rXs-bG\\_Tyw](https://youtu.be/rXs-bG_Tyw)



世界選手権、目的の一つであるオリンピック代表の選出  
は滞りなく達成できました。多くのメディアには露出頂き  
想像以上の反響に驚きました。これもオリンピックという  
バックがあつてのこと。今後はオリンピック後を見据えて  
このスポーツの発展が我々の使命であり、世界選手権の終  
わりがそのスタートと考えております。今後とご指導ご鞭  
撻のほどよろしくお願いたします。最後になりました  
が、この大会に係りましたスポンサー、八王子市、後  
援、会場、サプライヤー、業者、放送、警察、消防、ボラ  
ンティア、スタッフの皆様ありがとうございました。心よ  
り感謝申し上げます。

以 上

## Service manager (栗田) コメント

### 1. スタッフみなさんの無事

長期間、また日によってはかなり過酷な労働状況であったにもかかわらず、スタッフの誰一人として、大きな怪我も病気もせず、無事に大会を乗り切ってくれたこと。これは、ひとえに、スタッフ一人一人の健康管理（意識の高さ）があったからに他なく、感謝の言葉しかありません。

### 2. 全国からのスタッフ応援

夏休み期間ということもあって、東京だけではスタッフ募集に困窮する中、近隣県（埼玉、千葉、神奈川）はもとより、北海道、山梨、愛知、鳥取、四国と全国からのスタッフ応援があり、本当に助かりました。

### 3. 外注業者の協力

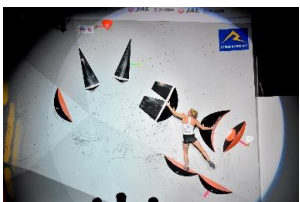
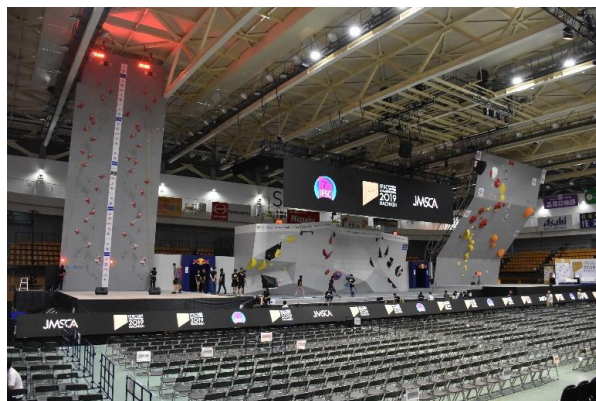
大がかりな会場設営はもとより、些細な備品の貸与まで、幅広く協力頂いた設営業者、警備スタッフの人数不足を補ってくれた警備会社、その他、数多くの外注業者のご協力により大会が成立したことを強く認識しています。

### 4. AD コントロール

オリンピックを見越してのカード（顔写真印刷、プラスチックカード）形式を取り入れたが、顔写真を入れたの印刷作業には、予想以上の稼働がかかり、スタッフ数に余裕がなかった本大会運営面に影響があった。また、カードサイズが小さく、会場担当はチェックに苦勞を要していたようです。

### 5. ケータリング量の見積り困難

これまでのワールドカップ値を基に算出したケータリング料でしたが、予想をはるかに上回る量で消費されていき、結果、毎日、買い出しに出かけることになりました。水の発注量は、予想の数倍となりましたが、その他、フルーツや甘いものの消費量も多かったのは、夏という季節も影響したのだと感じております。



# IFSC クライミング世界選手権 2019 八王子 開催の記録

令和2年4月

発行 八王子市オリンピック・パラリンピック推進室  
電話:042-620-7485  
Mail:b610000@city.hachioji.tokyo.jp

あなたのみちを、  
あるけるまち。

